

--- *b-mobile* -----

取扱説明書 BMH10C-J

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。
また、お読みになった後も、大切に保管してください。



日本通信株式会社

本多エレクトロン株式会社（製造元）



 HONDA ELECTRON

はじめに

このたびは BMH10C-J（以降、本 CF カードと呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は BMH10C-J の取扱説明書で本 CF カードをお使いのパソコンや PDA で使用できるようにするまでセットアップ方法を、使用環境別に説明しています。

本 CF カードが使用できる使用環境、OS は次のとおりです。

- ・ PC カードスロット TYPE II もしくは CF カードスロット TYPE II を装備したパソコン、各種 PDA
（PC カードスロット使用時は付属の PC カードアダプタ使用。）
- ・ Windows 95 / 98 / 98SE / Me / 2000 / XP / NT4.0 日本語版
- ・ Windows CE3.0 以上日本語版
- ・ Mac OS 8.5/8.5.1/8.6/9.0/9.0.4/ 9.1/ 9.2.1/ 9.2.2 / 10.1.5 日本語版

また、初めてデータ通信やインターネットを利用する方のために、専門用語の解説を付録に簡単に説明してありますので、ご一読ください。

ご使用の前に、必ず安全上のご注意をよくお読みの上、安全に正しくお取り扱いください。

また、本書は、お読みになった後も必要なときにすぐに見られるよう、大切に保管しておいてください。

おことわり

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害およびその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いません。

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願いいたします。

詳しくは、各地方自治体にお問合せください。

MNP は米国 Microcom 社の商標です。

Hayes（ヘイズ）は米国 Hayes Micro Computer Products, Inc. の登録商標です。

Windows 95、Windows 98、Windows 98SE、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windows XP

Windows CE は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

Compact Flash は米国 San Disk 社の登録商標であり CFA（Compact Flash Association）にライセンスされています。

その他、商品名および製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

本書では、本 CF カードを安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の表示を使って注意事項を喚起しています。

これらの表示の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの表示が記載されている事項については、必ずお守りください。

危害や損害の程度の区分表示

 **警告**：この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**：この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の区分表示

 この絵表示は気をつけて頂きたい「注意喚起」の内容です。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

 **警告**

 車両を運転中に本 CF カードを使用しないでください。交通事故の原因となります。

 航空機の機内や病院など、使用を禁止されている場所では本 CF カードを使用しないでください。電波障害により、電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあり、事故の原因となります。

 本 CF カードを分解、改造しないでください。火災、感電および故障の原因となります。

 小さいお子様の手の届くところに放置、または手の届くところでの使用は避けてください。感電や火災といった思いがけない事故の原因となります。

 本 CF カードに付属している CD-ROM はパソコンの CD-ROM ドライブ以外では絶対に使用しないでください。大音量の発生などにより耳に障害を負ったり、スピーカを破損する恐れがあります。

 **注意**

 水や薬品のかかる可能性のある場所で本 CF カードを使用したり、放置したりしないでください。発熱や感電の原因となります。

使用上のご注意

お取り扱いについて

- ・本 CF カードを次のような場所で使用したり、放置したりしないでください。
 - ・極度に高温や低温の場所
 - ・湿気が多い場所や水がかかる場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・薬品や有害なガスに触れる可能性のある場所

万一、本 CF カードから異常な発熱や発煙、異臭が生じた場合は、ただちに本 CF カードをご使用のパソコンまたは PDA から抜き取ってください。お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。

- ・本 CF カードを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・本 CF カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
- ・本 CF カードをパソコン、PDA 等のスロットに挿入したまま長期間保存しないでください。
- ・本 CF カードをパソコン、PDA 等のスロットに挿入したままカバン等に入れて持ち運ばないでください。

付属ソフトウェアについて

製品に付属のソフトウェアの使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

- ・お客様には、本ソフトウェアの使用権のみが譲渡されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡、販売などはできません。
- ・本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的にのみ許可されます。他人への譲渡、販売等の目的でコピーすることはできません。
- ・本ソフトウェアのご使用にあたり、生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する損害の請求については、弊社および販売店などはその一切の責任を負いません。

通信状態について

本 CF カードは、通信を行っていない状態で CF カード本体の表示ランプ（アンテナマーク側）が赤点灯の時は使用できません。同様に表示ランプ（アンテナマーク側）が緑点滅している場合、通信が不安定となる恐れがあります。表示ランプ（アンテナマーク側）が安定して緑点灯している状態で通信を行ってください。

ただし表示ランプ（アンテナマーク側）が安定して緑点灯している場合でも、回線が混んでいて通信ができない場合があります。この場合、しばらくしてからもう一度接続し直してください。表示ランプ（アンテナマーク側）が赤点灯のまま使用できない状態が続いた場合、場所を移動して緑点灯になるように調整してください。

自動再発信の制限について

本 CF カードでは、接続できなかった場合の再発信動作（リダイヤル）は3分中2回までとなっています。この場合には、しばらくしてから再発信（リダイヤル）してください。

その他

- ・パソコンや PDA の電源が ON の状態で抜き差しすると、故障の原因となる場合もあります。そのため、本 CF カードを抜き差しするときは、パソコンや PDA の電源を OFF にしてから行うようにしてください。
- ・パソコンや PDA の電池が不足した状態では、動作が不安定になります。電池の残量をよく確認の上、お使いください。
- ・テレビやラジオのそばで本 CF カードを使用すると、画面が乱れたり、雑音が入ったりする場合があります。この場合、テレビやラジオから離してお使いください。
- ・誤って操作をしたときは、パソコンや PDA の電源を一度切り、電源を入れ直してください。

目次

はじめに.....	1
おことわり.....	1
安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	3
1 ご使用になる前に	
通信方式について	6
通信方式の設定について	7
・アクセスポイントの電話番号に続けて「##mn」を入力する.....	7
・本CFカードの追加設定にATコマンド（@0mn）を入力する.....	7
発着信の制限について	7
2 カードセットアップ	
梱包品の確認	9
操作の流れ	10
表示ランプについて	11
カードをセットする	12
Setup Windows 95 / 98 / 98SE / Me	13
Setup Windows NT 4.0	23
Setup Windows 2000	26
Setup Windows XP	36
Setup Windows CE	46
Setup Macintosh MacOS X	50
Setup Macintosh MacOS	53
Setup PDA	56
3 困ったときに	
確認してください	58
・本CFカードが動作しない場合の確認事項.....	60
・外付けCD-ROMを使用して手動セットアップを行う場合.....	63
カスタマサポート	64
4 付録	
コマンドリファレンス	66
・ATコマンドの入力方法例.....	66
・ATコマンド.....	69
・Sレジスタ.....	70
・拡張ATコマンド.....	70
・リザルトコード.....	70
用語集	71
仕様	73

1 ご使用になる前に

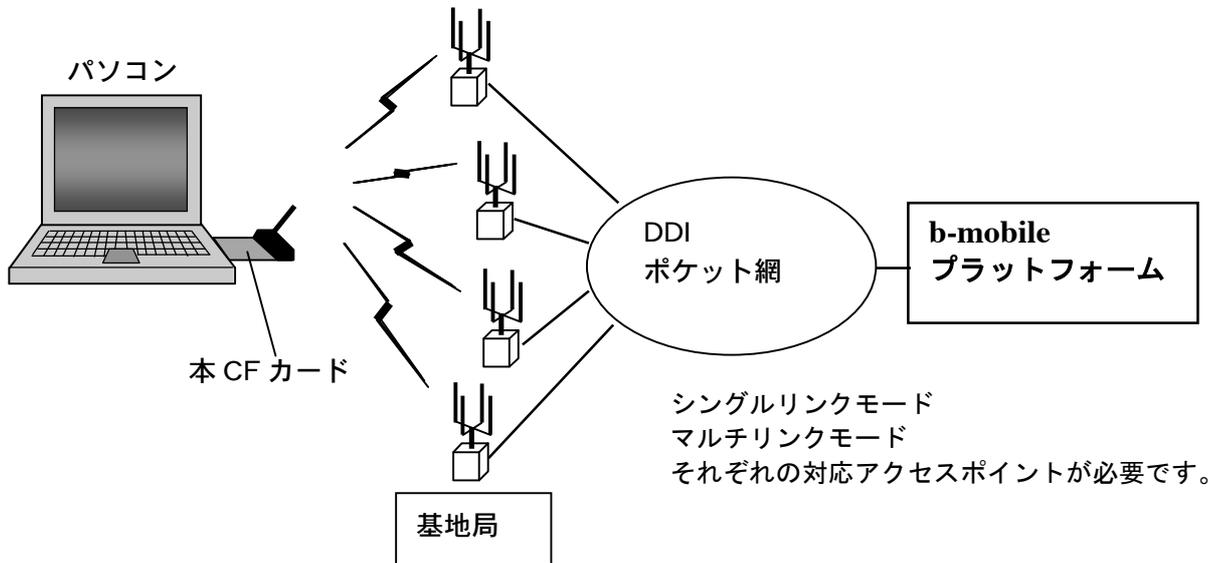
通信方式について
通信方式の設定について
発着信の制限について



通信方式について

本 CF カードの通信方式を以下に示します。

データ通信を始めるにあたり、通信方式をご理解の上、始めていただくことをおすすめします。



本 CF カードは以下の通信方式が選択できます。

・ **DDI ポケットシングルリンクモード (32k パケット方式)**

DDI ポケットがサービスを行っているパケット通信方式です。情報をパケット (小包) に分割してパケット単位で情報をやりとりする方式です。下り最大 32kbps、上り最大 17kbps でインターネットへ接続が可能です。

・ **DDI ポケットマルチリンクモード (128k パケット方式)**

DDI ポケットがサービスを行っているパケット通信方式です。4つの基地局を利用する事で下り最大 128kbps、上り最大 68kbps でインターネットへ接続が可能です。

注意：無線モデム・FAX、無線インターネットには対応していません。

通信方式の設定について

本 CF カードの通信方式を設定するには、「アクセスポイントの電話番号に続けて##mn を入力する」方法と「本 CF カードの追加設定に AT コマンド (@Omn) を入力する」方法の 2 通りがあります。ご都合の良い方法を選んでご利用ください。

- ・アクセスポイントの電話番号に続けて「##mn」を入力する

アクセス方式

電話番号に続けて

DDI ポケットシングルリンクモード (32k パケット方式)

##61

DDI ポケットマルチリンクモード (128k パケット方式)

##64

- ・ DDI ポケットマルチリンクモード (128k パケット方式) の場合の設定例

電話番号が 0123-456-789 の時

電話番号の入力欄に 0123456789##64 と入力します。

- ・本 CF カードの追加設定に AT コマンド (@Omn) を入力する

本 CF カードの通信設定欄の追加設定に「@Omn」を入力します (O はアルファベットのオーです)。たとえば「@O64」と入力した場合は、電話番号の末尾に (##64) を入力しなくても、128k パケット方式で通信を行います。

mn=61 : シングルリンクモード (32k パケット方式)

mn=64 : マルチリンクモード (128k パケット方式)

注意 : 通信方式の設定を正しく行わないと通信が出来ません。

注意 : 2 通りの方法で設定を行った場合、「@Omn」の設定よりも「##mn」の設定の方が優先されます。

発着信の制限について

着信 (電話をうける) はサポートしていません。

注意 : 発信 : データ通信における発信とは、電話をかけることをいいます。

着信 : データ通信における着信とは、電話をうけることをいいます。

どちらもデータの送受信方向とは異なります。

カードセットアップ

同梱品の確認
表示ランプについて
操作の流れ
Setup Windows 95 / 98 / 98 SE / Me
Setup Windows NT 4.0
Setup Windows 2000
Setup Windows XP
Setup Windows CE
Setup Macintosh MacOS X
Setup Macintosh MacOS
Setup PDA



梱包品の確認

お買い上げいただいたパッケージには、次のものが入っていますので、お使いになる前に確認してください。万一、不足しているものがあつた場合は、お買い上げの販売窓口にお問い合わせください。



本体（1枚）

パソコンのPCカードスロット、PDAのCFカードスロット（いずれもTYPEⅡ）に挿入して使用します。PCカードスロット挿入時は必ず付属のPCカードアダプタを使用してください。付属のPCカードアダプタ以外を使用すると、故障の原因となることがあります。



PCカードアダプタ（1枚）

PCカードスロット挿入時使用します。



ステップガイド

本CFカードを使用できるまでのセットアップ方法を簡単に説明しています。ATコマンドの詳細については付属のCD-ROM内のコマンドリファレンスをご覧ください。



CD-ROM（1枚）

CD-ROM内には次のものが入っています。お使いのパソコンに合わせてご使用ください。

Windows 関連

- ・ Windows95/98/98SE/Me/2000/XP/NT4.0 用セットアップファイル
- ・ 取扱説明書
- ・ ソフトウェア

Macintosh 関連

- ・ Macintosh 用 CCL ファイル
- ・ 取扱説明書
- ・ ソフトウェア

操作の流れ

本 CF カードを使って通信を行うまでの手順を要約して説明します。ここでは、ブラウザやメールソフトのインストールが完了していることを前提として説明しています。

本 CF カードを使ってデータ通信を行うには、まずカードのセットアップを行わなければなりません。ここでは、インターネットに接続するまでの流れをスクリーンキャプチャを用いて説明しています。この手順に従って、設定を行ってください。

なお、この説明では、代表的な OS やソフトの標準的な設定を解説していますが、使用環境によって多少異なる場合もあります。この場合随時読み替えてご利用ください。

1 カードをセットする

本 CF カードをパソコンにセットします。

2 カードを認識させる

本 CF カードをパソコンに認識させます。

3 ブラウザやメールソフトのインストール

WWW や E-mail サービスなどに対応したソフトのインストールを行います。

これらのソフトは、ご使用のパソコンにあらかじめインストールされているものもあります。

ソフトのインストール方法については、各ソフトのマニュアルをご覧ください。

4 アクセスポイントの電話番号などの設定

アクセスポイントの電話番号、通信形式などを手元にひかえ、各種設定をしてください。

なお、Windows NT 4.0、各種 PDA の場合は、使用環境によって設定方法が異なりますので、

お使いのパソコンや OS、各種 PDA の取扱説明書などをご覧ください。

5 インターネットに接続する

ダイヤルアップ接続して、インターネットに接続します。ユーザー名とパスワードを手元にひかえ、設定してください。なお、Windows NT 4.0、各種 PDA の場合は、使用環境や OS によって設定方法が異なりますのでお使いのパソコンや OS、各種 PDA の取扱説明書などをご覧ください。

注意

- ・ PDA にセットアップの際、カードを認識させる作業は不要です。そのまま PDA のスロットに入れてください。
- ・ 本 CF カードは PC カードスロット TYPE II もしくは CF カードスロット TYPE II に対応しております。(PC カードスロット使用時は付属の PC カードアダプタ使用) TYPE I には対応しておりませんのでご注意ください。

重要

本 CF カードを使って通信を行う場合、この設定を正しく行わないと通信ができないか本来の通信速度が出ない可能性があります。

アクセスポイントの電話番号に続けて「##mn」を入力してください。

アクセス方式	電話番号に続けて
シングルリンクモード (32k パケット方式)	##61
マルチリンクモード (128k パケット方式)	##64

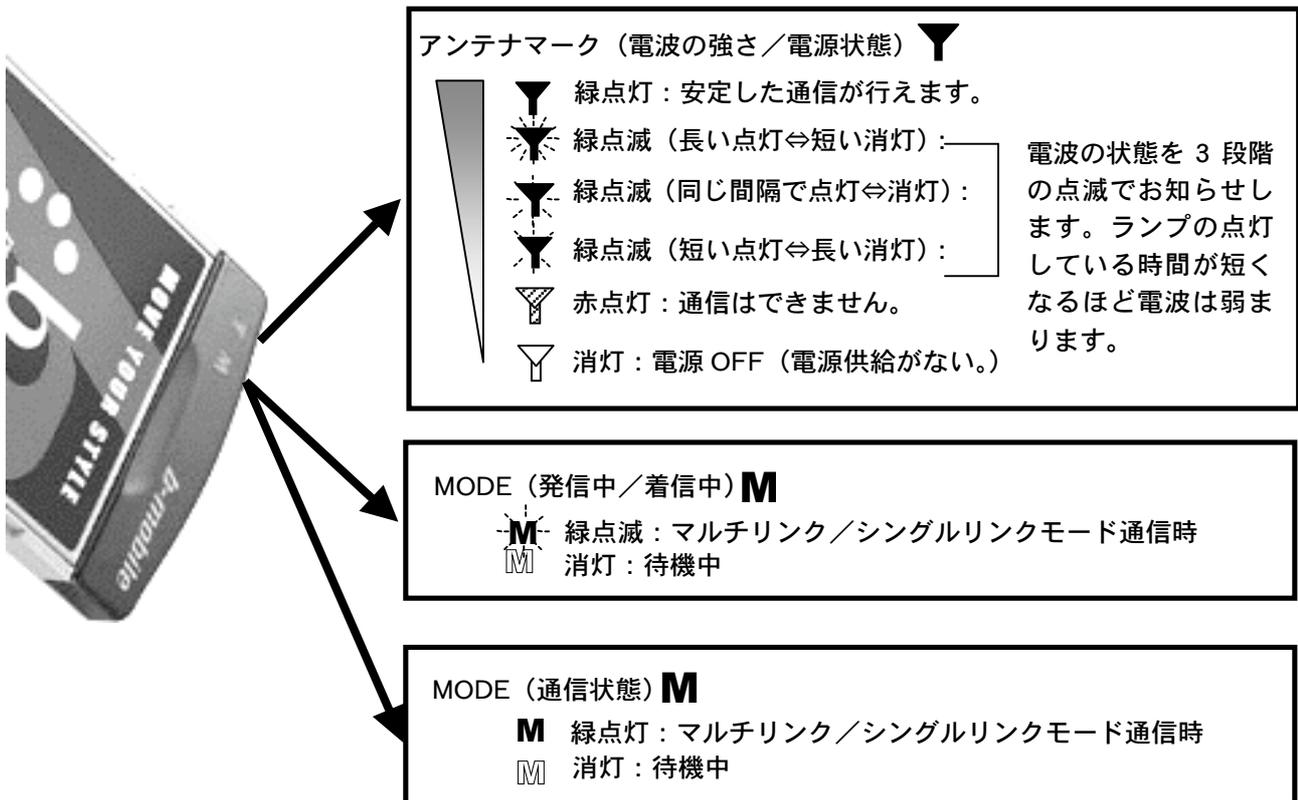
- ・ マルチリンクモード (128k パケット方式) の場合の設定例
電話番号が 0123-456-789 の時、電話番号の入力欄に 0123456789##64 と入力します。

表示ランプについて

サービスエリア内の電波状態を 5 段階表示で、また通信状態の区別をお知らせします。

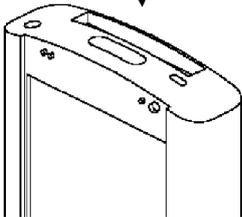
注意：本 CF カードをパソコンや各種 PDA に挿入し電源を投入した際、MODE 側ランプが数秒間、赤に点灯する場合がありますが、これは本 CF カードに対する初期化動作を表示するもので異常ではありません。

注意：本 CF カードをパソコンや各種 PDA に挿入し電源を投入した際、MODE 側ランプが赤点灯ままの場合には、一度パソコンあるいは各種 PDA の電源を切り、再び投入してください。それでも状態が変わらない場合は、サポートデスクにお問い合わせください。

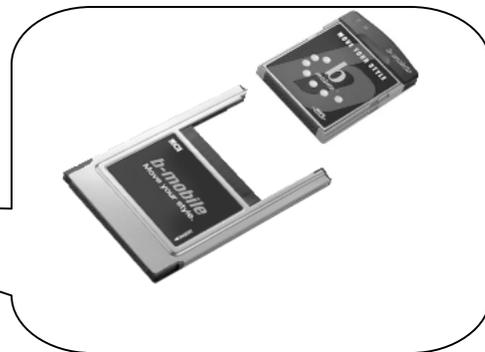
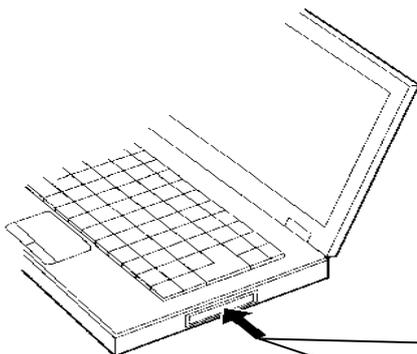


カードをセットする

- 1 パソコンまたは PDA の電源をオンにします。
- 2 CF カードスロットに挿入する場合は本 CF カードをそのまま挿入します。



- 3 PC カードスロットに挿入する場合は本 CF カードのラベル面と付属カードアダプタのラベル面をあわせて確実に挿入します。
その状態でパソコンの PC カードスロットに挿入します。
CF カードスロットがある場合は、本 CF カードを CF カードスロットに挿入しても同様です。



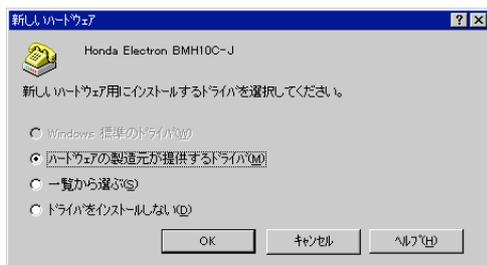
カードを認識させる

各 OS によって操作手順が異なりますので、ご利用の OS にあったページへお進みください。

注意 PC カードスロットがひとつしかなく、またその PC カードスロットを経由して外付け CD-ROM ドライブを使用する場合にはあらかじめ準備が必要です。

「新しいハードウェア」ダイアログボックスが表示された場合

4 [ハードウェアの製造元が提供するドライバ(M)] を選択し、[OK] をクリックします。「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

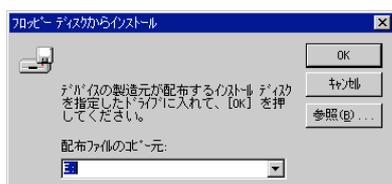


「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示された場合

4 本 CF カードに付属しているセットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、[次へ] をクリックします。



5 本 CF カードに付属しているセットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、[配付ファイルのコピー元] に CD-ROM ドライブ (D:など) を指定し、[OK] をクリックします。



5 [Honda Electron BMH10C-J] が表示されているのを確認し、[完了] をクリックします。



6 [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] 中の [モデム] をダブルクリックします。[モデムのプロパティ] に「Honda Electron BMH10C-J」の表示があれば、本 CF カードの準備設定は完了です。

一度設定すれば、以降は本 CF カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、「困ったときに」を参考にしてフローに従って確認を行い、再度設定してください。

インターネット設定に進んでください。

Windows 98 / 98 SE ドライバインストール

1 パソコンの電源を ON にし、Windows 98 / 98 SE を起動します。

2 本 CF カードに付属しているセットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

注意：セットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動でパソコンが CD-ROM を読み込みます。パソコンが CD-ROM を読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップできないことがありますので CD-ROM の読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください

3 本 CF カードをパソコンのカードスロットに挿入します。

「新しいハードウェアを検出しました」というダイアログボックスが表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。[次へ] をクリックします。



4 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する] にチェックして、[次へ] をクリックします。



5 [CD-ROM ドライブ] のチェックボックスにチェックし、[次へ] をクリックします。



6 「次へ」をクリックします。



7 「完了」をクリックします。



一度設定すれば、以降は本 CF カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、「困ったときに」のフローに従って確認を行い、再度設定してください。

インターネット設定に進んでください

Windows Me ドライバインストール

注意：セットアップする前に、お使いのパソコンに Windows Me がプリインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、Windows Me をインストールして使用できるかパソコンメーカーに必ずご確認ください。またその際は、必ずパソコンメーカーの指示（BIOS アップデートなど）を守って、インストールしてください。

- 1 パソコンの電源を ON にし、Windows Me を起動します。
- 2 本 CF カードに付属しているセットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

注意：セットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動でパソコンが CD-ROM を読み込みます。パソコンが CD-ROM を読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップできないことがありますので CD-ROM の読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください

- 3 本 CF カードをパソコンのカードスロットに挿入します。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。



- 4 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスの [適切なドライバを自動的に検索する] のチェックボックスにチェックがついていることを確認した上で [次へ] をクリックします。



- 5 Windows Me が自動的にドライバファイルを検出します。次の画面が表示されたら [完了] をクリックします。これで認識作業は完了です。



一度設定すれば、以降は本 CF カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、「困ったときに」のフローに従って確認を行い、再度設定してください。

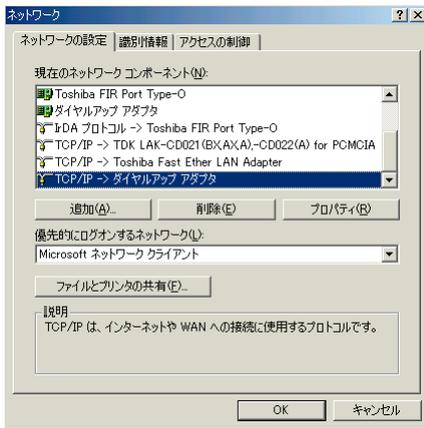
インターネット設定に進んでください

Windows 95 / 98 / 98 SE / Me のインターネット設定

ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークを使います。ダイヤルアップネットワークがお使いのパソコンにインストールされていない場合は、Windows 95 / 98 / 98SE / Me それぞれのマニュアルをご覧ください。すでにインストールされている場合は次の手順で進んでください。なお、ここでは Windows Me の画面を使って説明しますが、Windows 95 / 98 / 98SE でも操作はほぼ同様です。操作が異なる箇所に関しては、その手順内で説明します。

- 1 デスクトップ画面上から [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [ネットワーク] とアイコンをダブルクリックしていきま。

「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されますので「現在のネットワークコンポーネント」のリストに TCP/IP のコンポーネントが設定されていることを確認してください。確認が済んだら [OK] をクリックして、「コントロールパネル」ウィンドウに戻りますので「コントロールパネル」ウィンドウを閉じてください。



注意： TCP/IP がインストールされていない場合は、[追加] をクリックして、TCP/IP をインストールしてください。インストール方法については、Windows 95 / 98 / 98SE / Me のマニュアルをご覧ください。

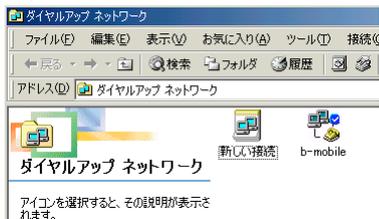
- 2 デスクトップ画面上の [スタート] から [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ダイヤルアップネットワーク] (Windows 95 の場合は [スタート] から [プログラム] → [アクセサリ] → [ダイヤルアップネットワーク]) と開いていくと、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されるとともに、「ダイヤルアップネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。ここで [次へ] をクリックします。すでにダイヤルアップネットワークを使用している場合は、[新しい接続] をダブルクリックして 3 に進んでください。

- 3 [接続名] としてプロバイダの名称や通信方式など (例: b-mobile) を入力し、[モデムの選択] で「Honda Electrom BMH10C-J」を選択して [次へ] をクリックします。



注意： [モデムの選択] で「Honda Electron BMH10C-J」が表示されない場合、お使いのパソコンに本 CF カードが正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、[キャンセル] をクリックして、この手順を一時中断し、本 CF カードを認識させてください。

- 7 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内に作成されたアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。



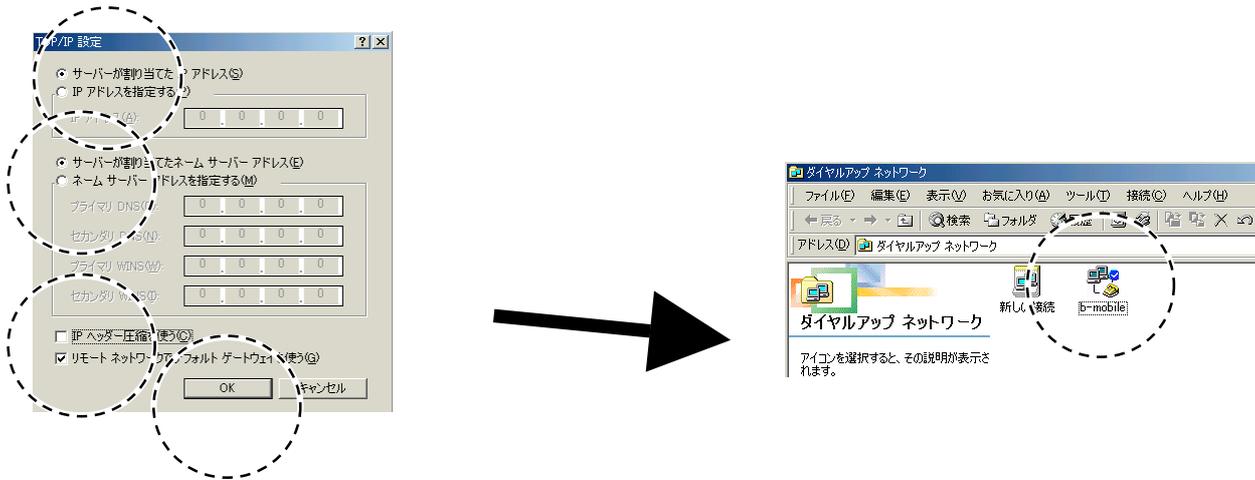
- 8 [市外局番とダイヤルのプロパティを使う] チェックボックスのチェックをはずし、[ネットワーク] タブをクリックします。Windows 95 の場合は、[国番号と市外局番を使う] チェックボックスのチェックをはずし、[サーバーの種類] をクリックします。Windows 98 / 98SE の場合は、[市外局番とダイヤルのプロパティを使う] のチェックボックスのチェックをはずし、[サーバーの種類] タブをクリックします。



- 9 サーバーの種類は [PPP : インターネット、Windows 2000 / NT, Windows Me] を選択し、詳細オプションは全てチェックをはずします。使用できるネットワークプロトコルで [TCP / IP] のみを選択し、[TCP / IP 設定] をクリックします。Windows 95 の場合、サーバーの種類は [PPP:Windows95、...] を選択し、詳細オプションは全てチェックをはずします。使用できるネットワークプロトコルで [TCP/IP] のみを選択し、[TCP/IP 設定] をクリックします。Windows 98 / 98 SE の場合は、[PPP : インターネット、Windows NT Server, Windows 98] を選択し、詳細オプションは全てチェックをはずします。使用できるネットワークプロトコルで [TCP/IP] のみを選択し、[TCP/IP 設定] をクリックします。



- 10 [サーバーが割り当てた IP アドレス] [サーバーが割り当てたネームサーバアドレス] [リモートネットワークでデフォルトゲートウェイを使う] のチェックボックスにチェックをつけ、[IP ヘッダー圧縮を使う]のチェックボックスはチェックをはずします。設定が完了したら、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、次のようなアイコンが表示されるまで [OK] を続けてクリックします。このアイコンが表示されれば、設定は完了です。



- 11 作成された「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内のアイコン（例では b-mobile）をダブルクリックします。

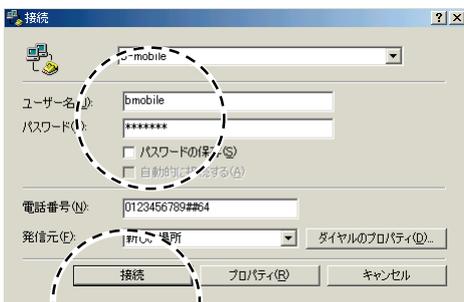
12 インターネットに接続する

インターネットに実際に接続するためには、以下の情報を手元に用意してください。

ユーザー名
パスワード



- 13 ユーザー名とパスワードを入力し、[接続] をクリックします。インターネットへの接続が開始されます。



注意：画像のユーザー名は、bmobile となっていますが、実際のユーザー名を入力してください。

- 14 「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールしたインターネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

Setup Windows NT 4.0

1 本 CF カードをパソコンのカードスロットに挿入した状態で、パソコンの電源を ON にし、Windows NT を起動します。

2 本 CF カードに付属されているセットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

注意：セットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動でパソコンが CD-ROM を読み込みます。パソコンが CD-ROM を読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップできないことがありますので CD-ROM の読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください。

3 デスクトップ画面上の [スタート] から [設定] → [コントロールパネル] と開いていくと、[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。その中の [PC カード (PCMCIA)] をダブルクリックします。

4 [ソケットの状態] で表示されている [HONDAELECTRONCO.,LTD.BMH10C-J] を選択し、[プロパティ(R)] をクリックします。[HONDA ELECTRON CO.,LTD.BMH10C-J プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

5 [カード情報] タブの中に表示させている [デバイスマップ] の COM 番号を確認し、[OK] をクリックします。(下記はデバイスマップが [COM3] の場合の例です。実際はお使いのパソコンにより異なります。)



6 [コントロールパネル] 中の [モデム] をダブルクリックして開くと、「モデムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。ここで [追加] をクリックします。



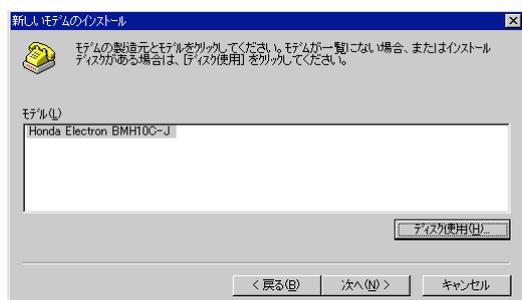
- 7 [モデムを一覧から選択するので検出しない] のチェックボックスをチェックし、[次へ] をクリックします。



- 8 [ディスク使用] をクリックして、配布ファイルのコピー元として CD-ROM ドライブ (D:など) を指定し、[OK] をクリックします。



- 9 表示される一覧から [Honda Electron BMH10C-J] を選択して [次へ] をクリックします。



- 10 手順 4 で事前に確認しておいた COM 番号を指定し、[次へ] をクリックします。(指定する COM 番号はお使いのパソコンにより異なります。)



- 11 **【完了】をクリックします。**
これで準備設定は完了です。



注意 Windows NT 4.0 はプラグアンドプレイに対応していません。このため、認識作業中またはご使用中に本 CF カードを抜き差しすると、パソコンを再起動するまで本 CF カードは認識されなくなります。

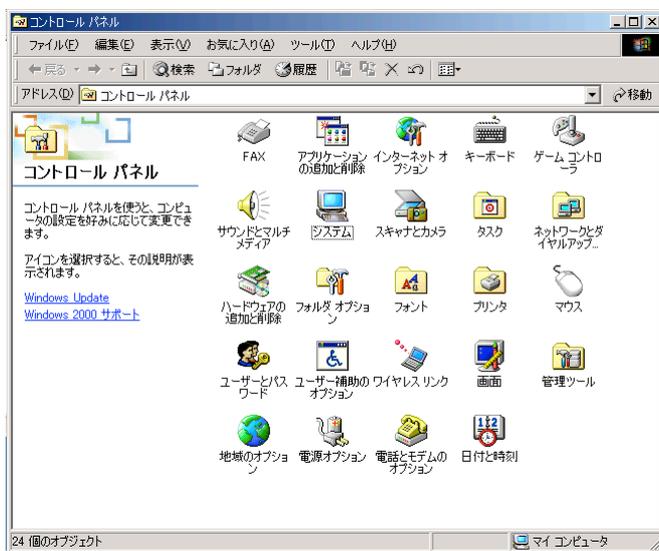
注意 Windows NT 4.0 は、使用環境によってプロバイダの電話番号・DNS アドレスの設定方法、インターネットへの接続方法が異なりますので、お使いのパソコンや OS の取扱説明書などをご覧になってこれ以降の設定を行ってください。

Setup Windows 2000

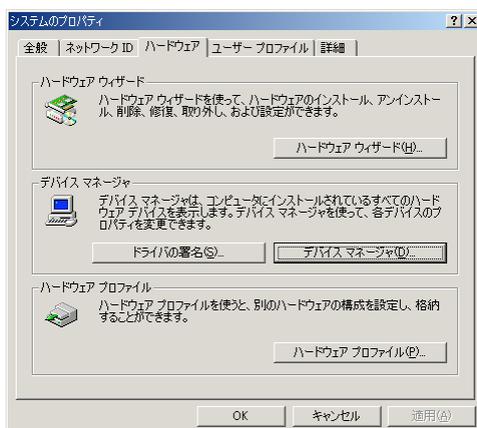
- 1 パソコンの電源を ON にし、Windows 2000 を起動した後、本 CF カードをパソコンのカードスロットに挿入します。「新しいハードウェアが見つかりました」というダイアログボックスが表示された後、「標準 PCMCIA カードモデム」としての認識作業が一旦終了します。
- 2 本 CF カードに付属しているセットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

注意：セットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動でパソコンが CD-ROM を読み込みます。パソコンが CD-ROM を読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップできないことがありますので CD-ROM の読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください

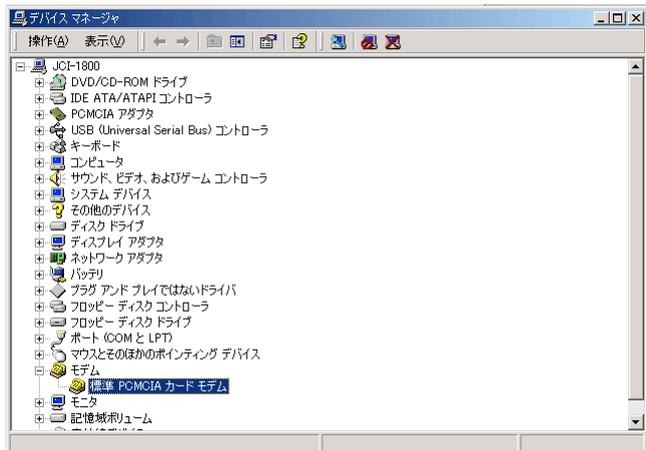
- 3 デスクトップ画面上から [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] と開いていくと、「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。この中の [システム] をダブルクリックします。「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます



- 4 「ハードウェア」をクリックして [デバイスマネージャ] をクリックします。「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。



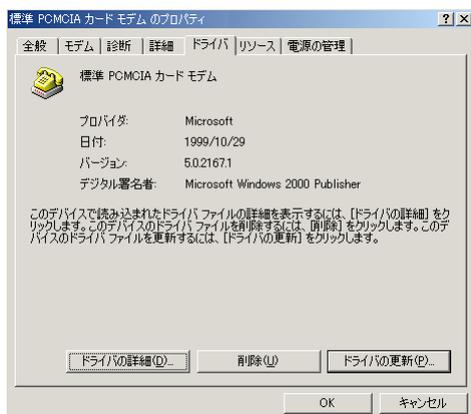
- 5 [モデム] をダブルクリックした上で、[標準 PCMCIA カードモデム] をダブルクリックします。「標準 PCMCIA カードモデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



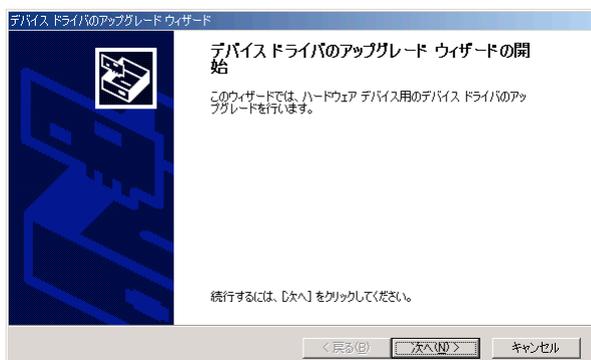
注意：「標準 PCMCIA カードモデム」が複数登録されている場合、「標準 PCMCIA カードモデムのプロパティ」ウィンドウ（5の図を参照）を開き「診断」タブをクリックして、表示されるウィンドウの「モデム情報」欄に下記のリストが表示されているのを確認した上で、以降の作業に進んでください。

PCMCIA ¥ HONDA ELECTRON CO.,LTD.BMH10C-J-XXXX
(XXXX の部分はカードにより異なることがあります。)

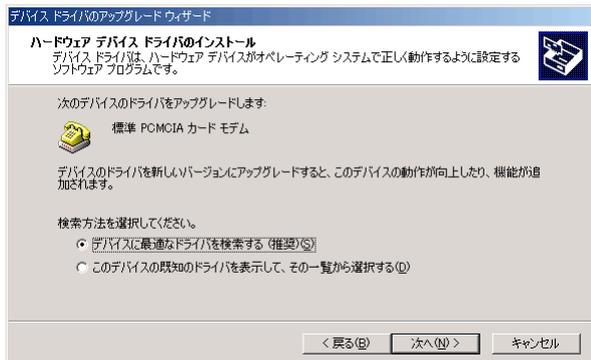
- 6 [ドライバ] タブをクリックして、[ドライバの更新] をクリックします。「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ダイアログボックスが表示されます。



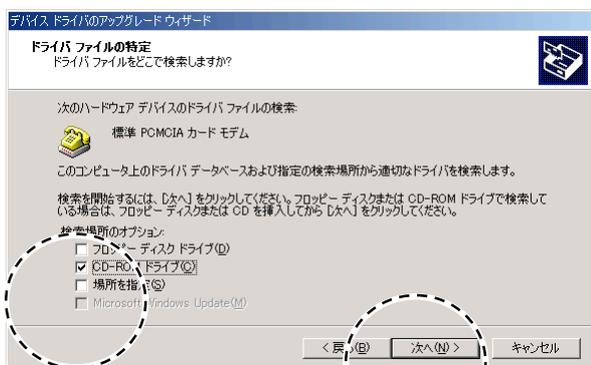
- 7 [次へ] をクリックします。



- 8 [デバイスに最適なドライバを検索する] のチェックボックスにチェックがついていることを確認し、[次へ] をクリックします。



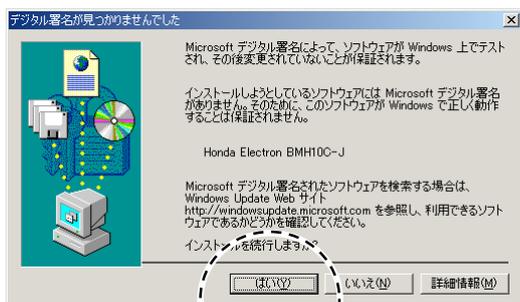
- 9 [CD-ROM ドライブ] にチェックがついているのを確認し、[次へ] をクリックします。チェックがついていない場合は [CD-ROM ドライブ] をクリックし、チェックをつけてください。



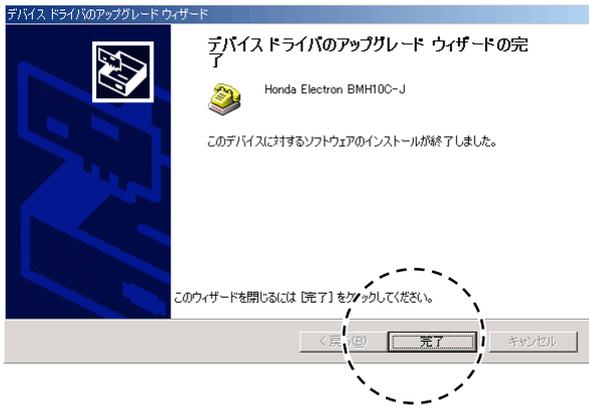
- 10 [次へ] をクリックします。



- 11 [デジタル署名が見つかりませんでした] というウィンドウが表示されますが、[はい] をクリックしてインストールを続行します。



12 [完了] をクリックします。

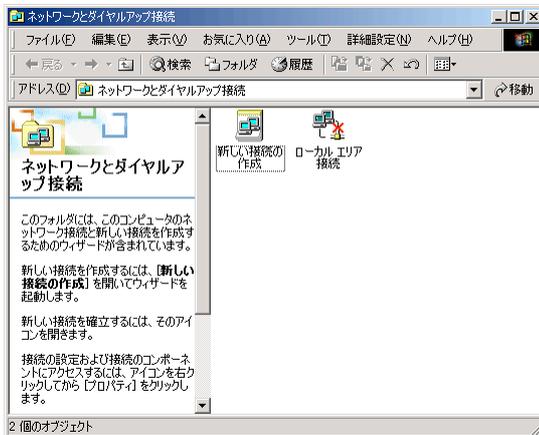


- 13 [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] の中の [電話とモデムのオプション] をダブルクリックします。[モデム] タブをクリックし、モデム表示の中に本 CF カードの表示があれば本 CF カードの準備設定は完了です。一度設定すれば、以降は本 CF カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、「困ったとき」にのフローに従って確認を行い、再度設定してください。

14 インターネット設定 Windows 2000

ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークおよび TCP/IP を使います。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、Windows 2000 のマニュアルをご覧ください。すでにインストールされている場合は、次の手順に進んでください。

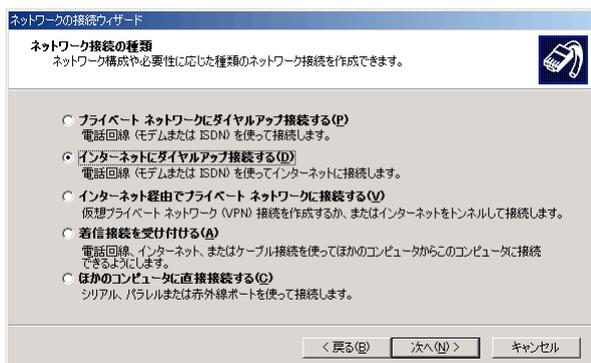
- 15 デスクトップ画面上の [スタート] から [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] と開いていくと、「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されこのウィンドウ内にある [新しい接続の作成] をダブルクリックします。「ネットワークの接続ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。



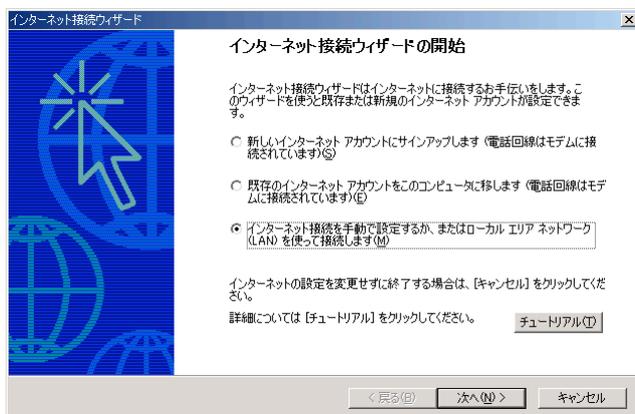
- 16 [次へ] をクリックします。



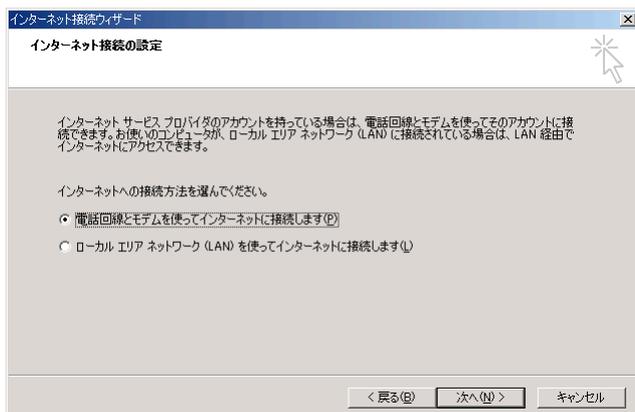
17 「インターネットにダイヤルアップ接続する」チェックボックスにチェックして「次へ」をクリックします。「インターネットの接続ウィザード」ウィンドウが表示されます。



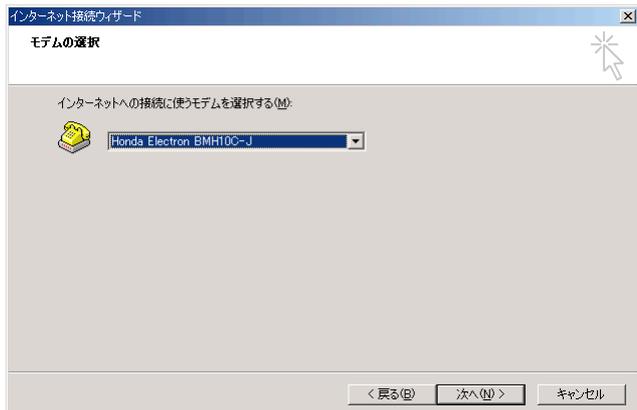
18 「インターネットを手動で設定するかローカルエリアネットワークを使って接続します」チェックボックスにチェックして「次へ」をクリックします。



19 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」チェックボックスにチェックして「次へ」をクリックします。



- 20 [モデムの選択] で「Honda Electron BMH10C-J」を選択して [次へ] をクリックします。内蔵モデムなど他のモデムがインストールされていない場合は、この画面が表示されませんので次の手順に進んでください。



注意：[モデムの選択] で「Honda Electron BMH10C-J」が表示されない場合、お使いのパソコンに本 CF カードが正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、[キャンセル] をクリックして、この手順を一時中断し、本 CF カードを認識させてください。

- 21 **アクセスポイントの電話番号を確認します。**
アクセスポイントの電話番号はご使用のサービスによって異なることがあります。またアクセスポイントの通信形式によっても異なることがあります。プロバイダから取得した情報をもとに、アクセスポイントの通信方式を確認してください。
- 22 **ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力します。**
市外局番の欄は空欄にしておいてください。電話番号の欄に、利用する通信方式に対応した電話番号（例：0123-456-789）を入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mn を加えてください。

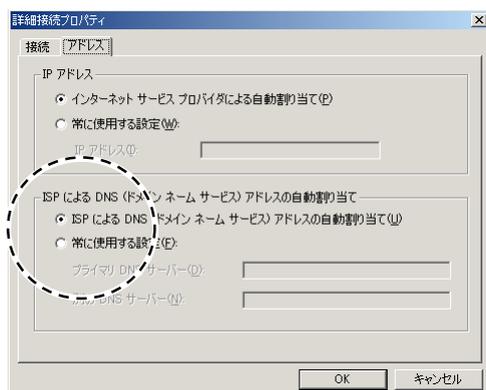
注意 電話番号入力時、以下のように入力してください。

DDI ポケットシングルリンクモード（32k パケット方式）の場合	:0123456789##61
DDI ポケットマルチリンクモード（128k パケット方式）の場合	:0123456789##64

国番号は [日本 (81)] を選択し、[市外局番とダイヤル情報を使う]チェックボックスのチェックをはずして[詳細設定]をクリックしてください。



- 23 [アドレス]タブにある[ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て]にある[常に使用する設定]チェックボックスにチェックをつけ、DNSサーバーのアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

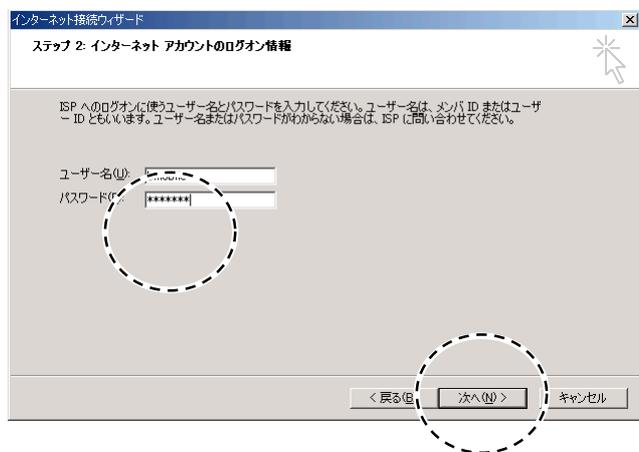


注意：プロバイダからネームサーバーアドレスが指定されていない場合や、接続ができない場合は、「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て（U）」を指定してください。

- 24 手順 22 の画面に戻りますので[次へ]をクリックします。

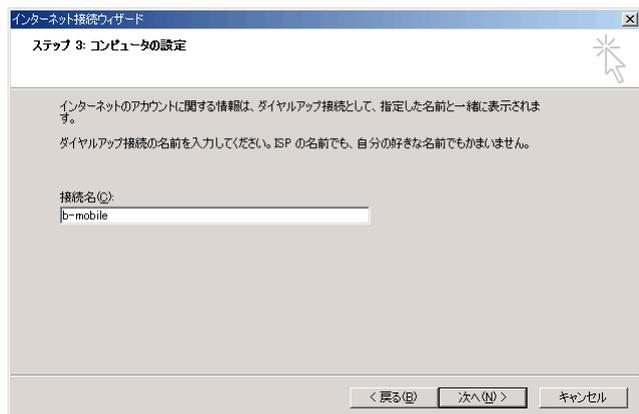
注意：[次へ]をクリックした後に電話番号の入力についてエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、[戻る]をクリックして8の画面まで戻り、“##mn”の入力を削除して設定を進めてください。

- 25 インターネットアカウントのログオン情報（ユーザー名/パスワード）を入力し、[次へ]をクリックします。



注意:画像のユーザー名は、bmobile となっていますが、入力する場合は、プロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

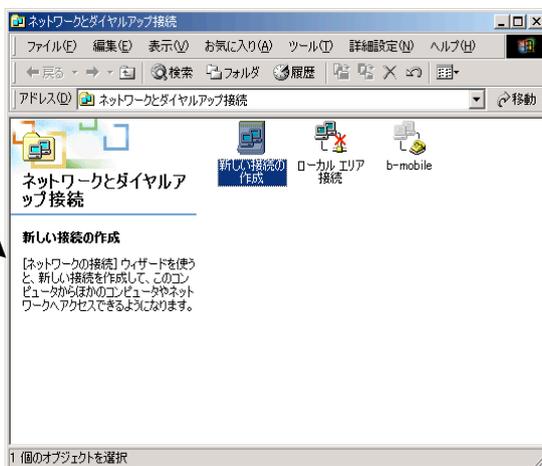
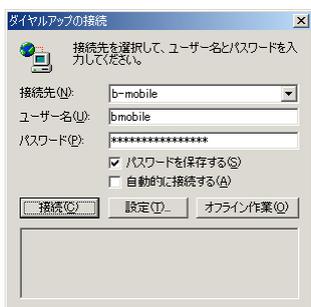
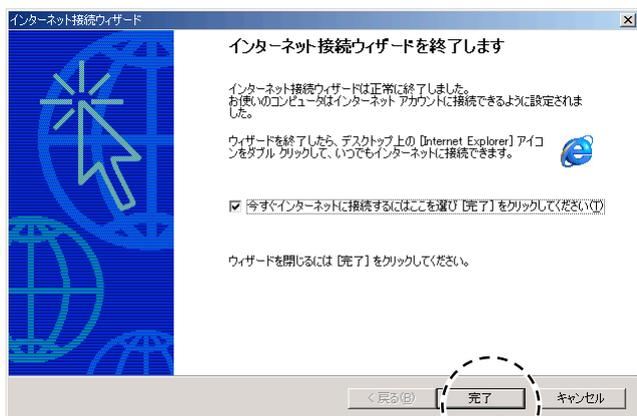
26 接続名として、プロバイダの名称や通信方式など（例：b-mobile）を入力して、[次へ] をクリックします。



27 [いいえ] チェックボックスにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
(メールアカウントの設定は、後からインターネット接続ウィザードを起動して設定することができます。)



- 28 [完了] をクリックして、ウィザードを終了します。「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウ内に指定した名前前のアイコンが作成されています。下記画面で[今すぐインターネットに接続するには...]チェックボックスにチェックがついていると、[ダイヤルアップの接続]ダイアログボックスが表示されます。



注意：[10]で“##mn”が入力できなかった場合、作成されたアイコンを右クリックして表示されるメニューからプロパティを選択して表示させます。プロパティ画面・“全般”タブ中の電話番号入力欄に、“##mn”を追加入力して[OK]をクリックしてください。

インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。

- ユーザー名
- パスワード

29 作成された「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内のアイコン（例では b-mobile）のアイコンをダブルクリックします。



30 プロバイダから取得したユーザ名とパスワードを入力し、[ダイヤル] をクリックします。プロバイダへの接続が開始されます。

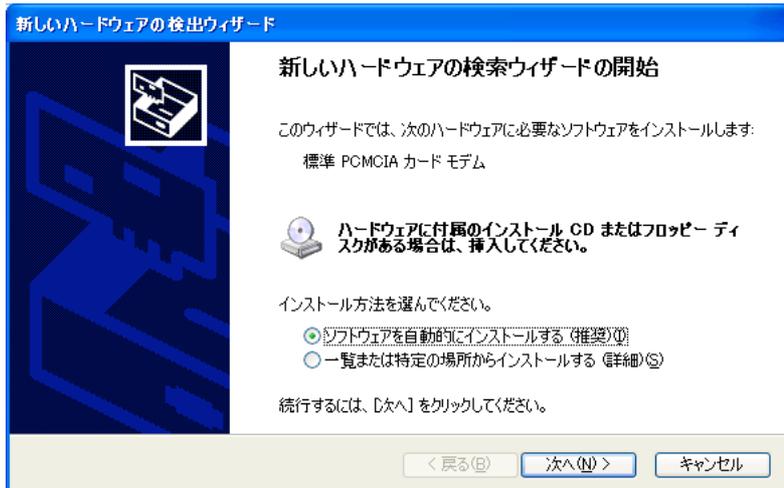


31 「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールしたインターネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

Setup Windows XP

注意：セットアップする前に、お使いのパソコンに Windows XP がプリインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、Windows XP をインストールして使用できるかパソコンメーカーに必ずご確認ください。またその際は、必ずパソコンメーカーの指示（BIOS アップデートなど）を守って、インストールしてください。

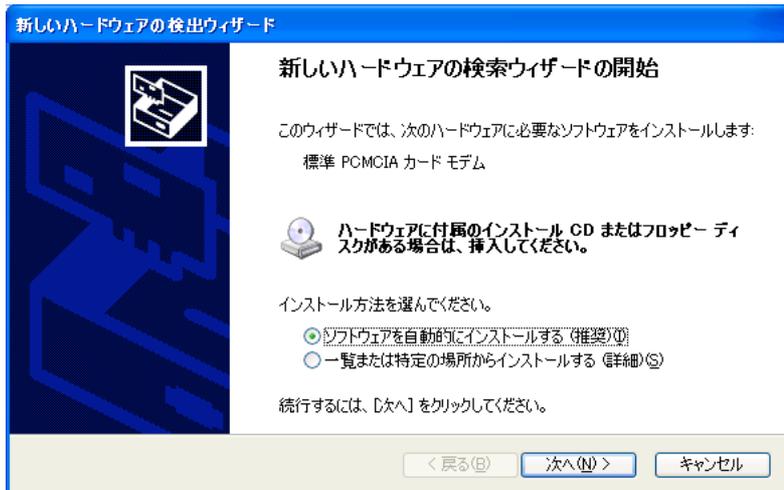
- 1 パソコンの電源を ON にし、Windows XP を起動します。
- 2 本 CF カードをパソコンのカードスロットに挿入します。
「新しいハードウェアの検索ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。



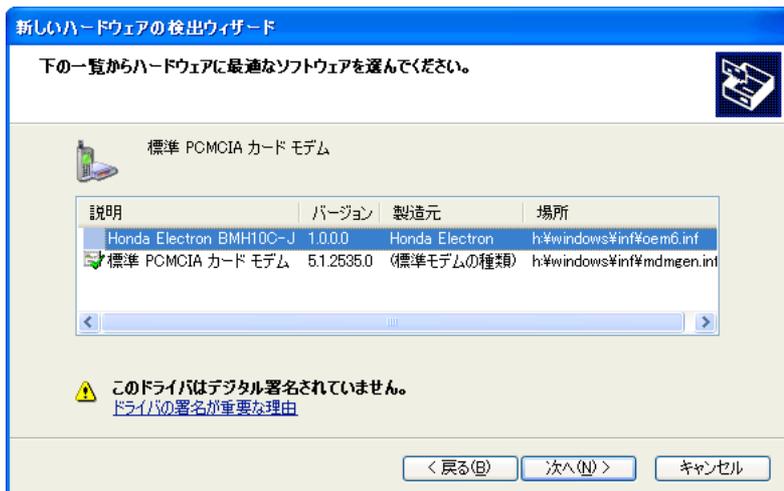
- 3 本 CF カードに付属しているセットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

注意：セットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入すると、自動でパソコンが CD-ROM を読み込みます。パソコンが CD-ROM を読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップできないことがありますので CD-ROM の読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください。

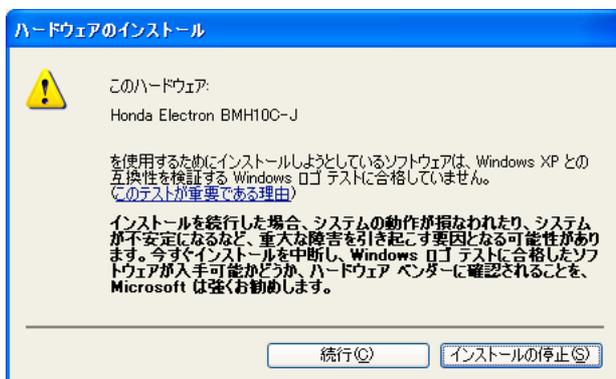
- 4 「新しいハードウェアの検索ウィザード」ダイアログボックスの [ソフトウェアを自動的にインストールする] のチェックボックスにチェックがついていることを確認した上で [次へ] をクリックします。



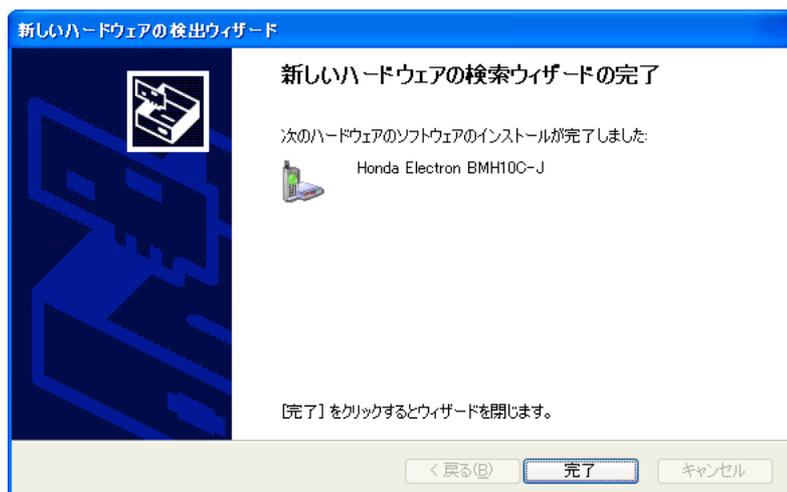
- 5 OS が自動的にドライバファイルを検出し、次の画面が表示されます。「Honda Electron BMH10C-J」を選択し [次へ] をクリックします。



- 6 次のダイアログボックスが表示されたら [続行] をクリックし、インストールを続けます。



7. 次の画面が表示されたら [完了] をクリックします。これで認識作業は完了です。



一度設定すれば、以降は本 CF カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、「困ったときに」のフローに従って確認を行い、再度設定してください。

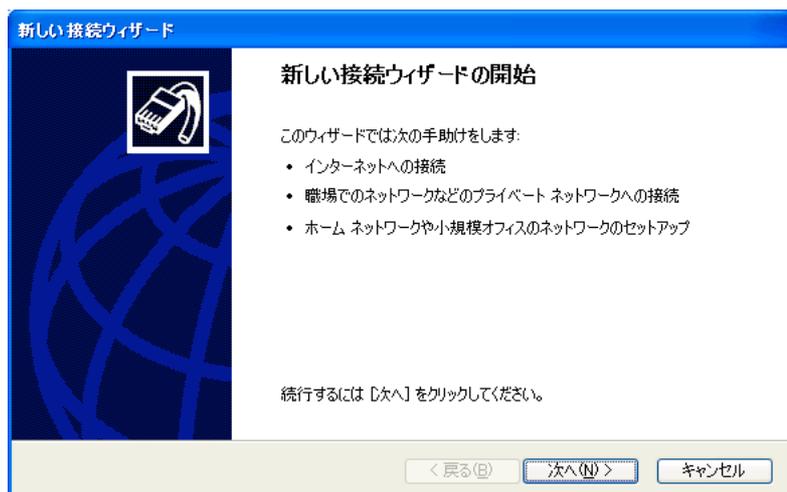
インターネットの接続設定をする。

ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークおよび TCP/IP を使います。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、Windows XP のマニュアルをご覧ください。すでにインストールされている場合は、次の手順で進んでください。

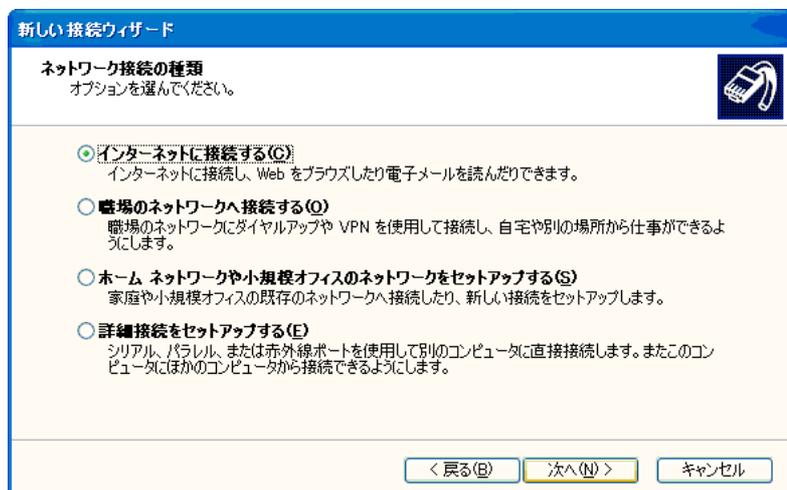
8 デスクトップ画面の [スタート] から [すべてのプログラム (P)] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワーク接続] と開いていくと、「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。このウィンドウ内にある [ネットワークタスク] の中の [新しい接続の作成] をダブルクリックします。「新しい接続ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。



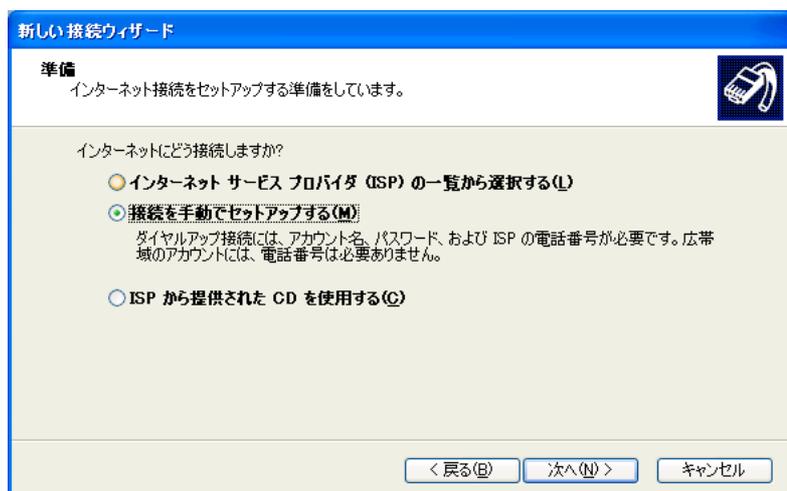
9 「次へ」をクリックします。



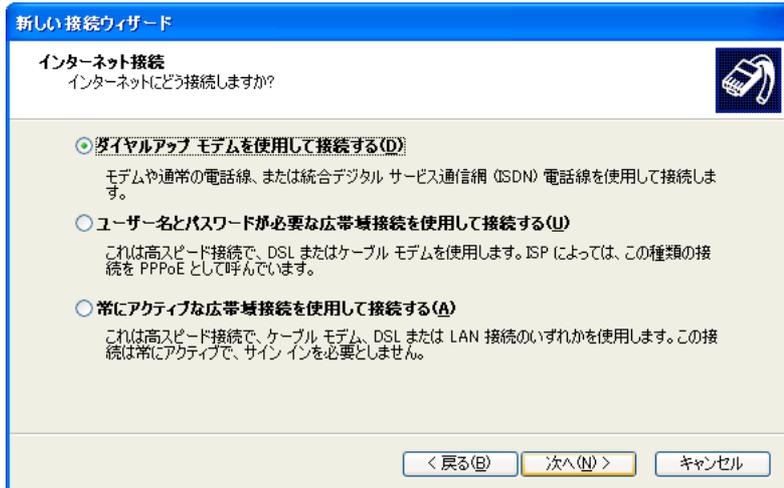
10 「インターネットに接続する」のチェックボックスにチェックして「次へ」をクリックします。



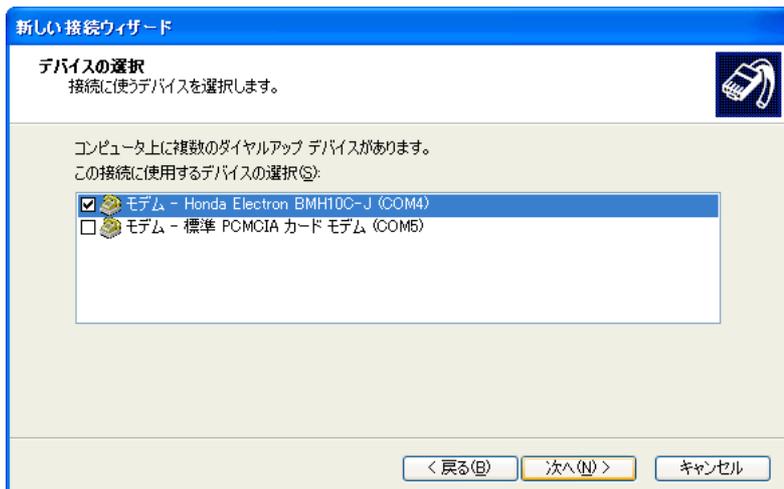
11 「接続を手動でセットアップする」のチェックボックスにチェックして「次へ」をクリックします。



- 12 [ダイヤルアップモデムを使用して接続する] のチェックボックスにチェックして [次へ] をクリックします。



- 13 [デバイスの選択] で「Honda Electron BMH10C-J」を選択して、[次へ] をクリックします。内蔵モデムなど他のモデムがインストールされていない場合は、この画面が表示されませんので手順 7 へ進んでください。



注意：[デバイスの選択] で「Honda Electron BMH10C-J」が表示されない場合、お使いのパソコンに本 CF カードが正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、[キャンセル] をクリックして、この手順を一時中断し、本 CF カードを認識させてください。

- 14 ISP名としてプロバイダの名称や通信方式など（例：b-mobile）を入力して「次へ」をクリックします。
（ここに入力された名前は作成している接続の名前になります）

- 15 アクセスポイントの電話番号を確認します。
アクセスポイントの電話番号はご使用のサービスによって異なることがあります。またアクセスポイントの通信形式によっても異なることがあります。プロバイダから取得した情報をもとに、アクセスポイントの通信方式を確認してください。

- 16 ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力します。
電話番号の欄に、利用する通信方式に対応した電話番号（例：0123-456-789）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mn を加えて「次へ」をクリックします。

注意 電話番号入力時、以下のように入力してください。

DDI ポケットシングルリンクモード（32k パケット方式）の場合	:0123456789##61
DDI ポケットマルチリンクモード（128k パケット方式）の場合	:0123456789##64

- 17 インターネットアカウントのログオン情報（ユーザー名／パスワード）を入力し、
[次へ] をクリックします。

The screenshot shows the '新しい接続ウィザード' (New Connection Wizard) dialog box. The title bar reads '新しい接続ウィザード'. The main title is 'インターネット アカウント情報' (Internet Account Information). Below the title, it says 'インターネット アカウントにサインインするにはアカウント名とパスワードが必要です。' (To sign in to an Internet account, you need an account name and password.) There is a small icon of a mobile phone in the top right corner. The main text reads: 'ISP アカウント名およびパスワードを入力し、この情報を書き留めてから安全な場所に保管してください。(既存のアカウント名またはパスワードを忘れてしまった場合は、ISP に問い合わせてください。)' (Enter your ISP account name and password, save this information, and store it in a safe place. (If you forget your account name or password, contact your ISP.)) There are three input fields: 'ユーザー名(U):' (User name) with 'bmobile' entered, 'パスワード(P):' (Password) with '*****' entered, and 'パスワードの確認入力(C):' (Confirm password) with '*****' entered. Below the fields are three checked checkboxes: 'このコンピュータからインターネットに接続するときは、だれでもこのアカウント名およびパスワードを使用する(S)' (When connecting to the Internet from this computer, allow anyone to use this account name and password), 'この接続を既定のインターネット接続とする(M)' (Make this connection the default Internet connection), and 'この接続のインターネット接続ファイアウォールをオンにする(O)' (Turn on the Internet connection firewall for this connection). At the bottom are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

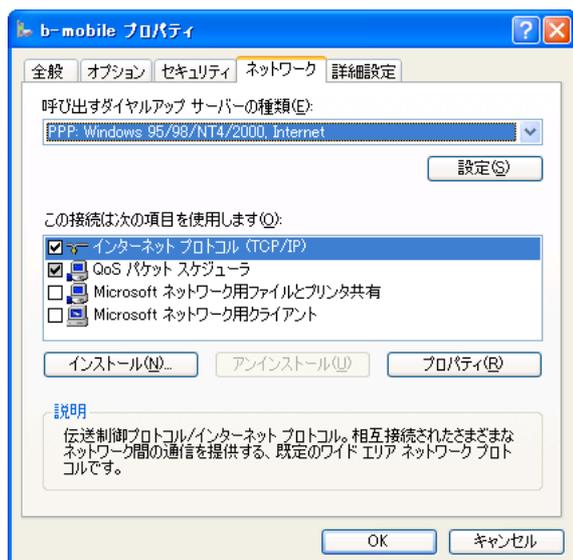
注意：画像のユーザー名は、bmobile となっていますが、入力する場合は、プロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

- 18 [完了] をクリックします。

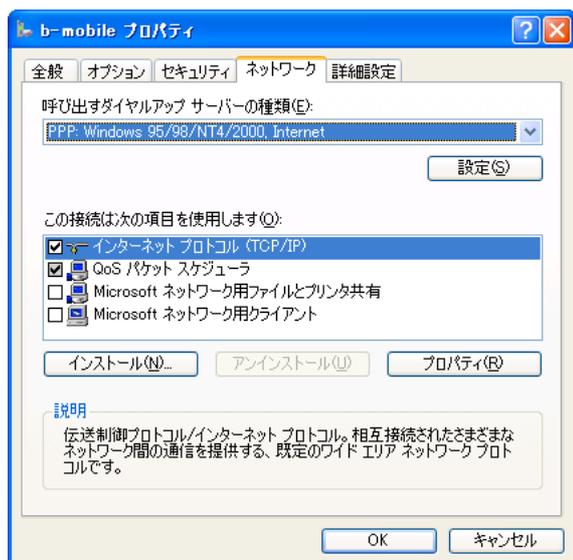
The screenshot shows the '新しい接続ウィザード' (New Connection Wizard) dialog box. The title bar reads '新しい接続ウィザード'. The main title is '新しい接続ウィザードの完了' (New Connection Wizard Completion). Below the title, it says '次の接続の作成に必要な手順は正常に完了しました。' (The steps required to create the next connection have been completed normally.) There is a small icon of a mobile phone in the top left corner. The main text reads: 'b-mobile' followed by a bulleted list: '既定の接続にする' (Make the default connection), 'この接続はファイアウォールを使用する' (This connection uses the firewall), 'このコンピュータのすべてのユーザーと共有する' (Share with all users on this computer), and 'すべての人に同じユーザー名とパスワードを使用する' (Use the same user name and password for everyone). Below this, it says 'この接続は、[ネットワーク接続] フォルダに保存されます。' (This connection will be saved in the [Network Connections] folder.) There is an unchecked checkbox: 'この接続へのショートカットをデスクトップに追加する(S)' (Add a shortcut to this connection to the desktop.) At the bottom, it says '接続を作成してウィザードを開じるには、[完了] をクリックしてください。' (To create the connection and finish the wizard, click [Finish].) At the bottom are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '完了' (Finish), and 'キャンセル' (Cancel).

The screenshot shows the 'b-mobile へ接続' (Connect to b-mobile) dialog box. The title bar reads 'b-mobile へ接続'. The main area features an illustration of a globe with a green arrow pointing upwards, flanked by two laptops. Below the illustration are three input fields: 'ユーザー名(U):' (User name) with 'bmobile' entered, 'パスワード(P):' (Password) with the text 'パスワードを変更するには、ここをクリックします' (Click here to change your password), and 'ダイヤル(D):' (Dial) with '0123456789##64' entered. Below the fields are three checked radio buttons: '次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S)' (Save this user name and password for use by the next user who connects), 'このユーザーのみ(N)' (This user only), and 'このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)' (All users who use this computer). At the bottom are four buttons: 'ダイヤル(D)' (Dial), 'キャンセル' (Cancel), 'プロパティ(P)' (Properties), and 'ヘルプ(H)' (Help).

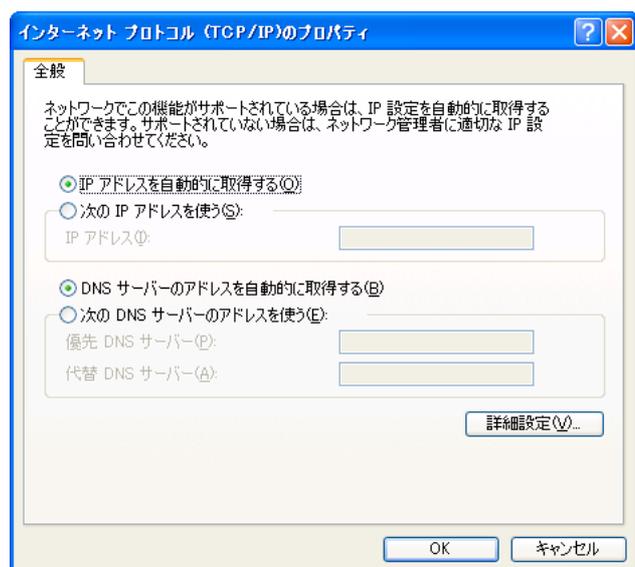
- 19 「ネットワーク接続」ウィンドウ内に作成されたアイコン（例では b-mobile）をクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。該当のプロパティウィンドウが表示されます。



- 20 [ネットワーク]タブをクリックし、[この接続は次の項目を使用します]でインターネットプロトコル (TCP/IP)]を選択して、プロパティをクリックします。



- 21 [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]オプションを選択します。
設定が完了したら「ネットワーク接続」ウィンドウに次のようなアイコンが表示されるまで[OK]を
続けてクリックします。このアイコンが表示されれば、設定は完了です。

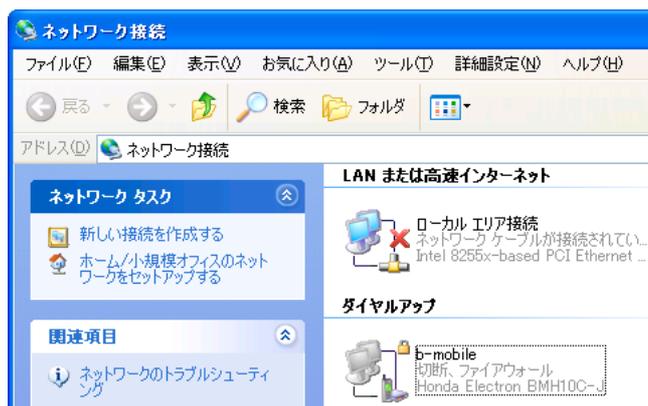


インターネットに接続する。

インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。

ユーザー名
パスワード

22 作成された「ネットワーク接続」ウィンドウ内のアイコン（例ではb-mobile）をダブルクリックします。



23 プロバイダから取得したユーザー名とパスワードを入力し、[ダイヤル] をクリックします。プロバイダへの接続が開始されます。



注意：画像のユーザー名は、bmobile となっていますが、入力する場合は、プロバイダから取得したユーザー名を入力してください

24 「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールしたインターネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

Setup Windows CE

Windows CE は、カードを認識させるための設定は特に必要なく、本 CF カードを挿入するだけで認識します。PDA の場合は、カードの認識方法が PDA により異なりますので、それぞれの PDA の取扱説明書をご覧になって、カードを認識させてください。

- 1 デスクトップ画面上の [スタート] から [プログラム] → [通信] → [リモートネットワーク] と開いていくと、「リモートネットワーク」ウィンドウが表示されます。その中の [新しい接続] をダブルクリックします。「新しい接続」ダイアログボックスが表示されます。



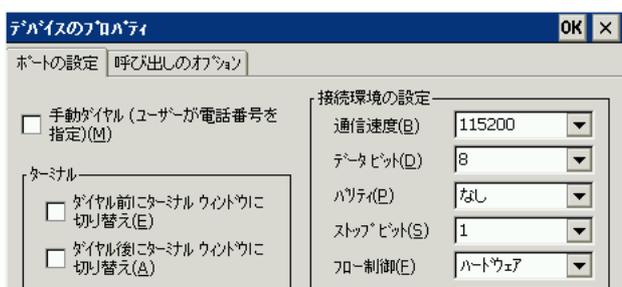
- 2 [接続名] としてプロバイダの名称や通信方式など（例：b-mobile）を入力し、[ダイヤルアップ接続] チェックボックスにチェックして [次へ] をクリックします。



- 3 [モデムの選択] で「HONDA_ELECTRON_CO.,LTD-BMH10C-J」を選択し、[モデムの設定] をクリックします。



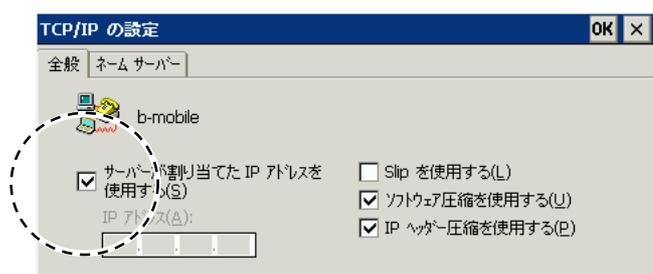
- 4 [通信速度] で [115200] を選択し、[OK] をクリックします。



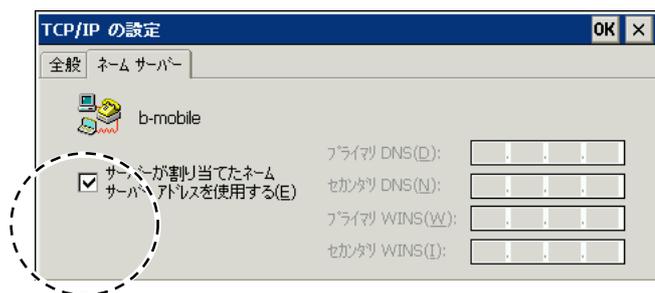
5 [TCP/IP の設定] をクリックします。



6 TCP/IP の設定は、契約したプロバイダによってそれぞれ違います。プロバイダの指示に従ってチェックをつけてください。その後、[ネームサーバー] タブをクリックします。



7 [サーバーが割り当てたネームサーバーアドレスを使用する] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。



8 [次へ] をクリックします。

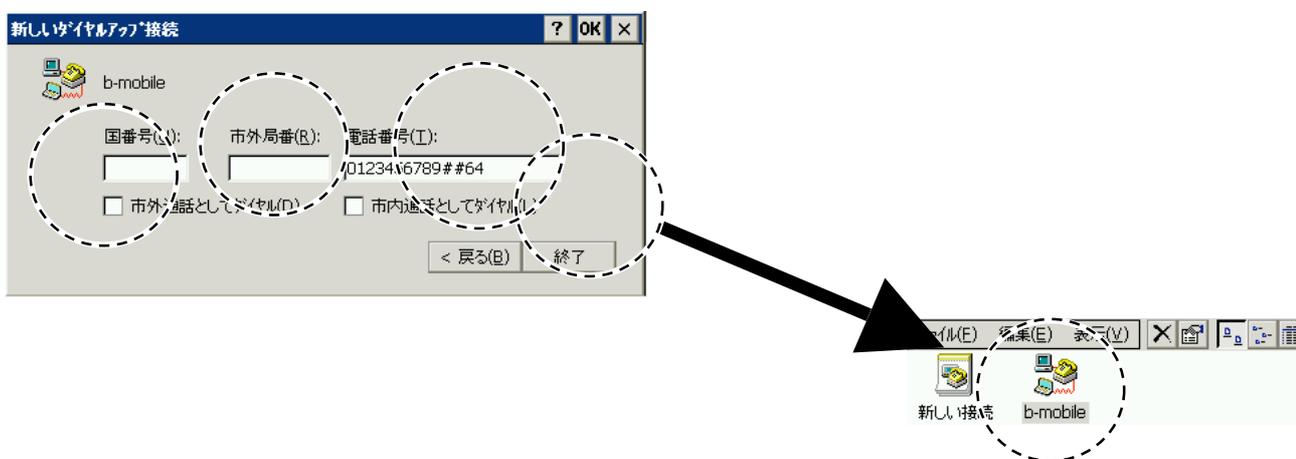
9 アクセスポイントの電話番号を確認します。
アクセスポイントの電話番号はご使用のサービスによって異なることがあります。またアクセスポイントの通信形式によっても異なることがあります。プロバイダから取得した情報をもとに、アクセスポイントの通信方式を確認してください。

10 ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力します。
電話番号の欄に、利用する通信方式に対応した電話番号（例：0123-456-789）を入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mnを加えてください。

注意 電話番号入力時、以下のように入力してください。

DDI ポケットシングルリンクモード（32k パケット方式）の場合	:0123456789##61
DDI ポケットマルチリンクモード（128k パケット方式）の場合	:0123456789##64

[市外通話としてダイヤル] チェックボックスにチェックし、[終了をクリックしてください]。
リモートネットワークウィンドウ内に手順2で指定した名前のアイコンが作成されます。
これで設定は完了です。



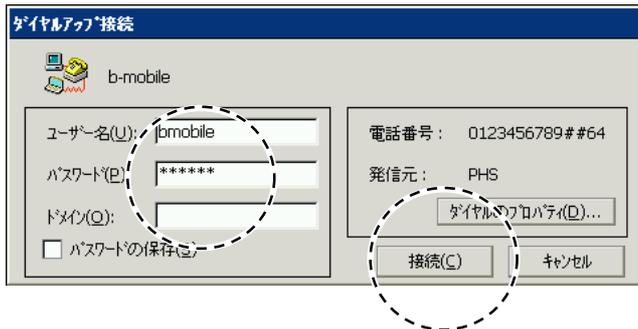
インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。

- ユーザー名
- パスワード

11 作成された「リモートネットワーク」ウィンドウ内のアイコン（例では b-mobile）をダブルクリックします。

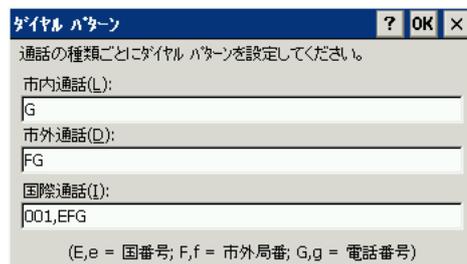


12 プロバイダから取得したユーザー名とパスワードを入力し、[接続] をクリックします。
インターネットへの接続が開始されます。



注意：画像のユーザー名は、bmobile となっていますが、入力する場合は、プロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

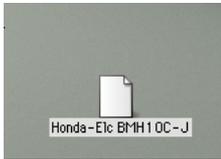
注意：電話番号表示に、0 発信 (TO,)
がついている場合は、電話番号の設定が
間違っています。この場合は、[ダイヤル
のプロパティ]の[ダイヤルパターン]で
設定を修正します。
正しい ○
T0123456789##64
間違い ×
TO、0123-567-89##64



13 「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールした
インターネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

Setup Macintosh MacOS X

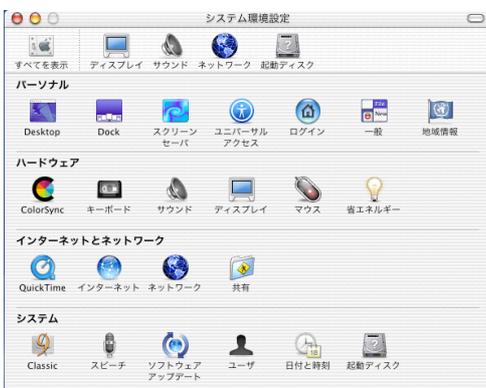
- 1 Macintosh の電源を ON にし、MacOS X を起動します。
- 2 本 CF カードに付属されているセットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、CCL フォルダに入っている「CCL ファイル」をルートディレクトリ内（ハードディスク直下）→ [Library] の中の [Modem Scripts] フォルダへコピーします。



注意:MAC OS 10.2 の場合は、CCL ファイルをルートディレクトリ内（ハードディスク直下）→ [ライブラリ] → [Modem Scripts] にコピーしてください。

注意：OS によってはあらかじめ CCL ファイルがインストールされている場合があります。この場合、CCL ファイルのコピー操作は必要ありません。

- 3 Macintosh を再起動します。
- 4 お使いの Macintosh に本 CF カードを挿入します。このとき特に変化はありません。
- 5 アップルメニューの [システム環境設定] を選択するか、あるいは Dock の [System Preferences] のアイコンをクリックして、[システム環境設定]アプリケーションを起動します。

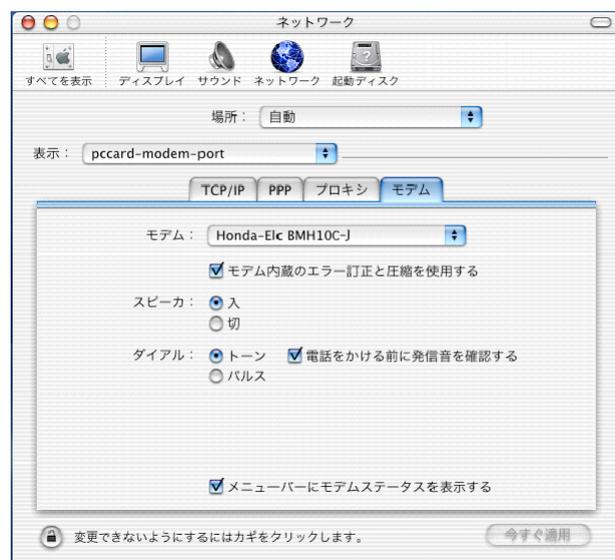


そして、[ネットワーク] のアイコンをクリックします。すると、「新しいポートが検出されました」というメッセージのかかれたシートが表示されますので、そこで OK ボタンをクリックします。現在の「場所」に、「pccard-modem-port」という接続先が加わります。これで、カードのセットアップは終了です。

6 続いて新しく認識された「pccard-modem-port」ポップアップメニューからそれを選択し、設定を行います。
[コントロールパネル] から [TCP/IP] を選択し、TCP/IP 設定画面を表示させます。[TCP/IP] のタブでは、「設定」として「PPP を使用」を選択します。

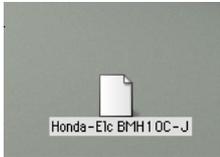


7 [モデム] のタブでは、ポップアップメニューから使用する PC カードモデムの機種「Honda-Elc BMH10C-J」を選択します。表示されない場合、CCL ファイルのインストールが正しく行われていないことが考えられます。PC カードモデムに付属する CCL ファイルを/Library/ModemScripts にコピーしてから再度設定を行って下さい。設定を確認したら、[PPP] タブをクリックして、ダイヤルアップの設定を行います。



Setup Macintosh MacOS

- 1 Macintosh の電源を ON にし、MacOS を起動します。
- 1 本 CF カードに付属されているセットアップ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、CCL フォルダに入っている「CCL ファイル」を [システムフォルダ] → [拡張機能] の中の [Modem Scripts] フォルダへコピーします。

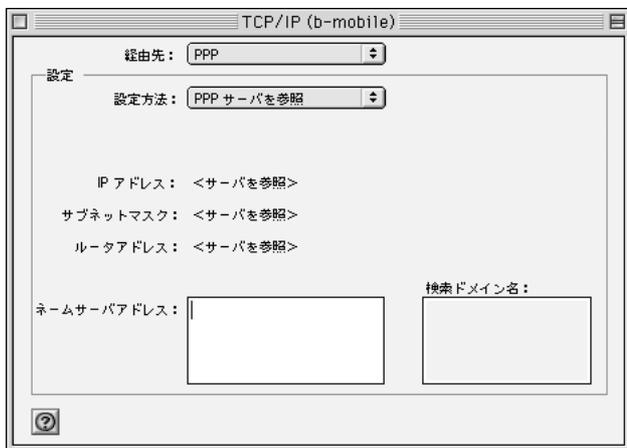


注意： OS によってはあらかじめ CCL ファイルがインストールされている場合があります。この場合、CCL ファイルのコピー操作は必要ありません。

- 2 Macintosh を再起動します。
これで準備は完了です。
- 3 インターネット接続設定をする。
ネットワークに接続するためには、「Open Transport/PPP」や「Apple Remote Access クライアントなどのソフトを使います。ここでは、「Open Transport/PPP」を使っての設定方法を説明します。「Open Transport/PPP」がインストールされていない場合は、Macintosh の取扱説明書をご覧になってインストールしてください。
- 4 お使いの Macintosh に本 CF カードを挿入した状態で、デスクトップ上にカードアイコンが表示されることを確認します。



- 5 [コントロールパネル] から [TCP/IP] を選択し、TCP/IP 設定画面を表示させます。
経由先を [PPP] に、設定方法を [PPP サーバを参照] に設定します。



- 6 [コントロールパネル] から [モデム] を選択し、モデム設定画面を表示させます。経由先を「BMH10C-J」にします。
[モデム]は契約したプロバイダのアクセスポイントがどのような通信方式をとっているかによって、それぞれ変わってきます。プロバイダから取得した情報をもとにアクセスポイントの通信方式を選択して下さい。

注意： 経由先は、場合によって[上 (下) 段 PC カードスロット]と表示されることがあります
その場合は、カードを挿入しているスロットを指定してください。



- 7 [コントロールパネル] から [リモートアクセス] を選択し、リモートアクセス設定画面を表示させ、プロバイダから取得したユーザ名とパスワードを入力します。

インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。

- ユーザー名 (名前)
- パスワード
- プロバイダのアクセスポイントの電話番号

注意： 画像のユーザー名は、bmobile となっていますが、入力する場合は、プロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

- 8 アクセスポイントの電話番号を入力します。

電話番号 (例：0123-456-789) を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する ##mn を加えてください。

注意 電話番号入力時、以下のように入力してください。

DDI ポケットシングルリンクモード (32k パケット方式) の場合	:0123456789##61
DDI ポケットマルチリンクモード (128k パケット方式) の場合	:0123456789##64

電話番号入力後、[接続]をクリックするとプロバイダへの接続が開始されます。



注意： 画像のユーザー名は、bmobile となっていますが、入力する場合は、プロバイダから取得したユーザー名を入力してください。

- 9 「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールしたインターネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

Setup PDA

Windows CE は、カードを認識させるための設定は特に必要なく、本 CF カードを挿入するだけで認識します。PDA の場合は、カードの認識方法が PDA により異なりますので、それぞれの PDA の取扱説明書をご覧になって、カードを認識させてください。

各種 PDA の場合

1 通信ソフトを立ち上げて、以下の通信環境の設定を確認します。

- ・データフォーマットを通信先にあわせてください。
不明な点はプロバイダにお問い合わせください。
- ・モデムの選択を要求するソフトの場合は、「標準 28800bps モデム」「ヘイズ AT 対応モデム」などを選択してください。
- ・通信速度は「115200」に設定してください。この速度がない場合は、機器の最高速度を選択してください。

通信ソフトによって設定方法が異なりますので、詳細などは通信ソフトや PDA の取扱説明書をご覧ください。

2 アクセスポイントの電話番号を確認します。

アクセスポイントの電話番号はご使用のサービスによって異なることがあります。またアクセスポイントの通信形式によっても異なることがあります。プロバイダから取得した情報をもとに、アクセスポイントの通信方式を確認してください。

3 ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力します。

市外局番の欄は空欄にしておいてください。電話番号の欄に、利用する通信方式に対応した電話番号（例：0123-456-789）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する##mn を加えてください。

注意 電話番号入力時、以下のように入力してください。

DDI ポケットシングルリンクモード（32k パケット方式）の場合	:0123456789##61
DDI ポケットマルチリンクモード（128k パケット方式）の場合	:0123456789##64

これで設定は完了です。

注意 インターネット接続については各種 PDA の場合、使用環境や OS によって設定方法が異なりますので、お使いの PDA の取扱い説明書をご覧ください。

困ったときに

確認してください
カスタマサポート



確認してください

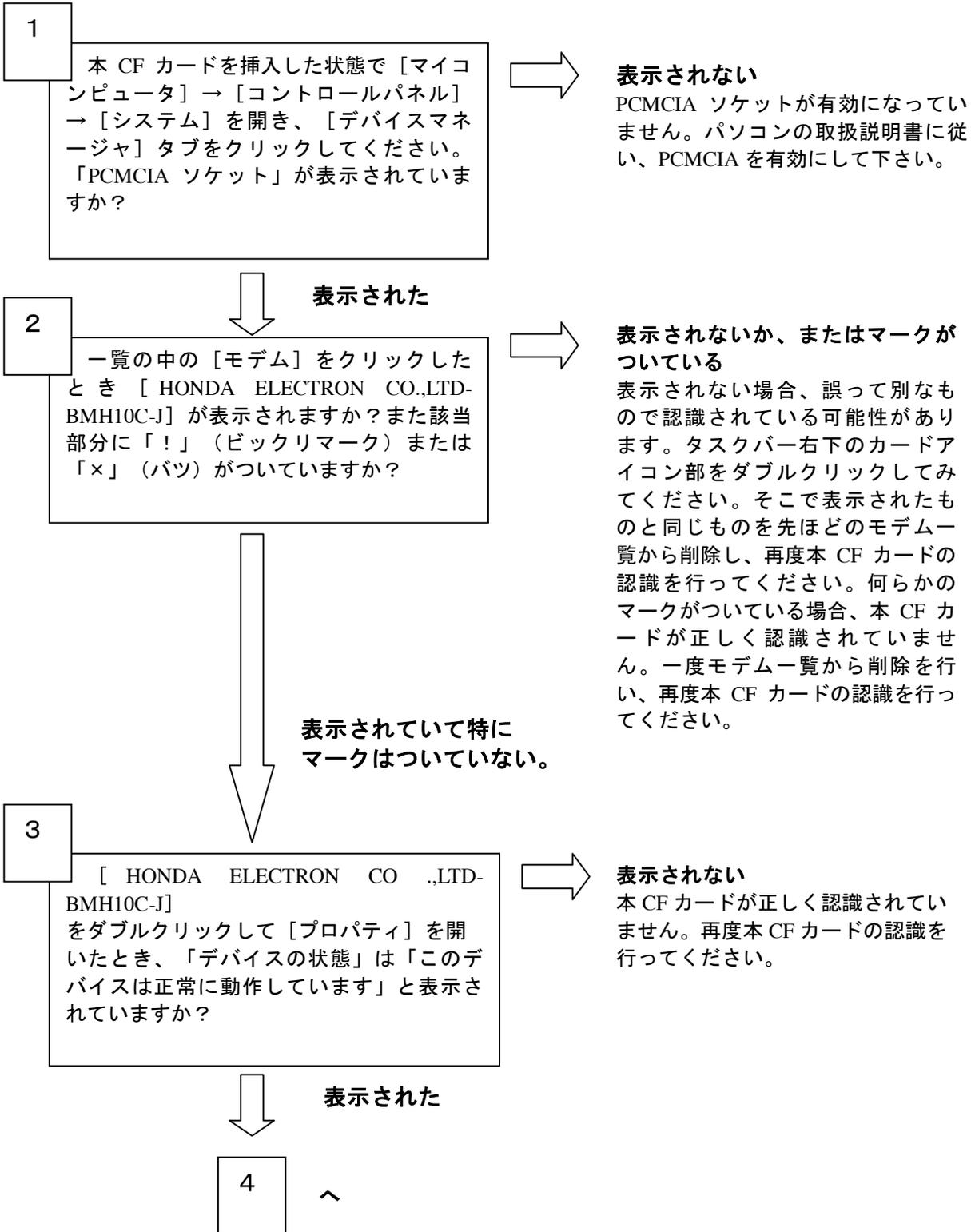
本 CF カードが正常に動作しない場合は、まず以下の項目を確認してください。
 確認しても動作しない場合は、お買い上げの販売窓口までお問い合わせください。

症 状	確認事項
本 CF カードを差し込んで もパソコンが全く反応しな い	<ul style="list-style-type: none"> ・本 CF カードが正しく接続されていない可能性があります。カードをもう一度、奥までしっかりと差し込んでください。 ・PCMCIA カードのドライバが正常に機能していない可能性があります。PCMCIA カードのドライバが正しくセットされていることを確認の上、本 CF カードを差し込んでください。 ・省エネタイプのパソコンでは本 PC カードへの電源を OFF にしているものがあります。本 CF カードのランプがどちらも消灯している場合にはカードへの電源が供給されていない可能性があるため、パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。 ・本 CF カードのランプの状態を確認してください。MODE 側が赤点灯のままの場合、パソコンや PDA の電源を OFF にし、再度電源を投入してください
誤って標準 PCMCIA カード モデムで認識させてしまっ (Windows 95 / 98 / 98 SE / Me / 2000 / XP)	<ul style="list-style-type: none"> ・本 CF カードを抜いた状態で「コントロールパネル」→「モデム」開いて「モデムのプロパティ」の中の [標準 PCMCIA カードモデム] を選んで削除してから再度セットアップを行ってください。
本 CF カードをパソコンに 認識させたのに通信ソフト から使えない	<ul style="list-style-type: none"> ・本 CF カードがパソコンに正しく認識されているかどうか確認してください。さらに手順に従って各項目を確認してください。
データ通信時、つながると すぐきれてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類・電話番号・ユーザ名・パスワード・データ形式などを確認してください。設定の内容は利用されているプロバイダにご確認ください。 ・ダイヤルアップ接続の場合は、サーバーの設定・TCP/IP の設定も確認してください。
通信できない（電話がかけ られない）、 電話をかけ始めるとすぐ切 れてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・通信方式の設定が正しく行われていない可能性があります。通信方式の設定についてをご参照の上、ご確認ください。 ・自動再発信規制中の可能性があります。最初の発信から 3 分以内に行うことができる再発信は 2 回までです。しばらくしてから、再度発信してみてください。 ・お近くの基地局で使える回線がすべて他の人に使用されていると利用できない場合があります。しばらくしてから、再度発信してみてください。

症状	確認事項
通信が安定しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。本 CF カードのアンテナマーク側ランプが安定して点灯していることを確認してください。 ・同ランプが点滅している場合は、電波の届きにくい場所である可能性がありますので、安定して点灯する場所に移動してください。 ・通信相手とデータ形式が合っていない場合があります。データ形式を確認してください。
通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・通信方式の設定が正しくない可能性があります。それぞれの OS「プロバイダの電話番号などの設定」に記載された電話番号の入力方法をご確認ください。 ・電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。 ・パソコンと本 CF カードとの通信速度設定が低い場合があります。特に Windows でダイヤルアップ接続を利用している場合は、[ダイヤルアップネットワーク] の設定の中で本 CF カードとの通信速度をご使用のパソコンの上限速度に設定してください。[コントロールパネル] からの通信速度の設定は無効になりますのでご注意ください。 ・Windows 98 / 98 SE / Me の場合には IP パケットサイズを確認願います。「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」→「ネットワークの設定」タブにて「ダイヤルアップアダプタ」のプロパティを選択。詳細設定タブの部分で IP パケットサイズを確認、「自動」となっている場合、「大」に変更願います。 ・CD-ROM に付属の b-access にてお使いのパソコンの環境を設定しなおしてみてください。
通信ソフトがうまく動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・途中まで動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが全体としてうまく動作しない場合、通信ソフトの設定が不適切な可能性があります。通信ソフトの設定内容を確認してください。 ・パソコンや PDA の電源をいったん OFF にし、本書に従って、再度本 CF カードを接続してください。 ・パソコンや PDA の電池を確認してください。電池が少なくなると動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は新しい電池に交換するか、パソコンや PDA に付属の AC アダプタを使って動かしてみてください。
通信していないのに電力を消耗する	<ul style="list-style-type: none"> ・通信ソフトを起動していると通信してなくても電力を消耗します。通信をしていない時はできるだけ通信ソフトを終了させるようにしてください。

本 CF カードが動作しない場合の確認事項

ここでは、Windows 95 / 98 / 98 SE / Me / 2000 / XP の場合の確認事項を説明します。他の使用環境のものに関しては、弊社サポートデスクにお問い合わせください。



4

3 の [プロパティ] 内で [モデム] タブをクリックし、[ポート] の COM 番号が正しく割り当てられているか確認してください。



正しく割り当てられていない。
他のポート（通信ポートや赤外線ポートなど）と競合し、使用できない状態になっている場合は、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」から「モデム」を選択。弊社以外のモデムの部分を選択し、「プロパティ」をクリックして下さい。「全般」のところで「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」をクリック。（Windows 2000 の場合は「デバイスの状況」のところで「このデバイスを使わない(無効)」を選択）OK 選択後、表示されている画面を閉じて Windows を再起動して、再度本 CF カードを認識させて下さい。

正しく割り当てられている

5

いったん「モデムのプロパティ」を閉じてください。次に、AT コマンド入力例を参考にターミナルソフトを起動し、入力フィールドに `ati4` と入力して Enter キーを押してください。



文字が入力できない
パソコンの設定によっては、文字が表示されないだけの場合があります。「atz」と入力して Enter キーを押し、再度「ati4」と入力してみてください。それでも入力できないときは、本 CF カードが正しく認識されていない可能性があります。再度本 CF カードの認識を行ってください。

「BMH10C-J OK」が返送された

「BMH10C-J OK」以外の文字列が返送された
モデムの選択で違うモデムを指定しています。「HONDA ELECTRON CO.,LTD-BMH10C-J」を選択してください。それでも同じ状態であれば、再度確認後、一度すべてのモデム設定を削除し再度本 CF カードの認識を行ってください。

6

atd アクセスポイントの電話番号##mn と入力して Enter キーを押してください。
(##mn の設定は通信方式ごとに異なります。「通信方式の設定について」をご覧ください。)



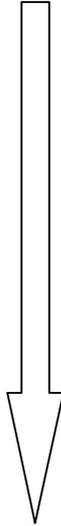
「connect」以外の文字列が返送された

通信設定が間違っています。再度設定しなおしてください。

NO CARRIER と表示された

アクセスポイントの電話番号が正しいか、お客様ご自身の契約内容とあわせ確認してください。また「アクセスポイントの通信方式」と「通信方式の設定」が正しいか確認して、再度「atd アクセスポイントの電話番号##mn」を入力してみてください。また、DDI ポケットのサービスエリア内にいるかアンテナ側 LED の表示 (18 ページ) をご覧になって確認してください。
※アクセスポイントの混雑なども考えられますので、数回行ってください。

「connect」が返送された



カードの認識 (セットアップ) に問題がなく、通信可能な状態です。
メニューバーの [ファイル] → [ハイパーターミナルの終了] をクリックして切断し、ハイパーターミナルを終了してください。

外付け CD-ROM を使用して手動セットアップを行う場合

PC カードスロットがひとつしかなく、またその PC カードスロットを経由して外付け CD-ROM ドライブを使用する場合には以下の手順に沿ってセットアップを行ってください。

- 1 C ドライブ上にエクスプローラなどで新規フォルダを作成します。
- 2 本 CF カードに付属しているセットアップ用 CD-ROM 内にある Windows 用ドライバファイル (xxx.inf ファイル) を新規フォルダへコピーします。
- 3 CD-ROM ドライブを外し、PC カードスロットに本 CF カードを挿入します。
- 4 認識の手順の中で検索場所を先ほどのフォルダに指定し、認識手順を続けてください。
- 5 認識手順完了後、手順 1 で作成したフォルダは削除してください。

カスタマサポート

本 CF カードに関する技術的なお問い合わせは、下記サポートデスクまでご連絡ください。
修理を依頼される場合は、本 CF カードお買い上げの販売窓口または当社ヘルプデスクまで連絡ください。

日本通信株式会社

URL : <http://www.j-com.co.jp>

E-Mail : helpdesk@j-com.co.jp

技術的なお問い合わせについては、次の点をお知らせください。

- ・パソコン名（機種名・型番など）
- ・OSの種類およびバージョン
- ・インターネットブラウザの種類とバージョン、メールソフトの種類とバージョン
- ・データカードに登録されている電話番号/PSID
- ・ご利用のデータカードの種類

併せて、<http://www.bmobile.ne.jp> もご覧ください

本多エレクトロン株式会社

URL : <http://www.honda-elc.com/bmh>

付録

コマンドリファレンス
用語集
仕様
索引



コマンドリファレンス

データ通信を行うために、本 CF カードをパソコン（または PDA）から制御するためのコマンドについて説明します。なお、各コマンドの詳細については、本 CF カードに付属されているセットアップ用 CD-ROM 内の「コマンドリファレンス」をご覧ください。

本 CF カードを制御するコマンドは、米国 Hayes 社の「AT コマンド」と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。通常は、通信ソフトが AT コマンドを発行するので、AT コマンドを意識する必要はありません。独自に本 CF カードを制御したい場合は、AT コマンドを制御できる通信ソフト（ターミナルソフト）を用意してください。

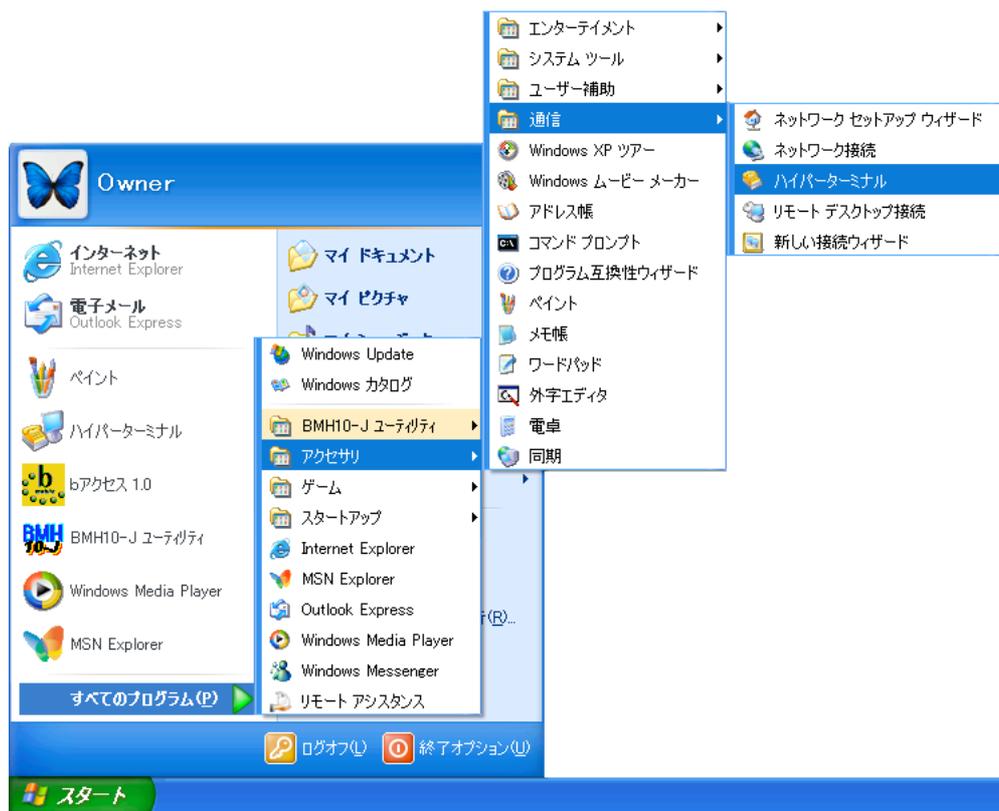
AT コマンドの入力方法例

ここでは、通信ソフトとして Windows 95 / 98 / 98 SE のハイパーターミナルを使って、AT コマンドを入力する方法を説明します。

1. [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [ハイパーターミナル]（Windows 98/98SE の場合は [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ハイパーターミナル]）の順に開いていきます。

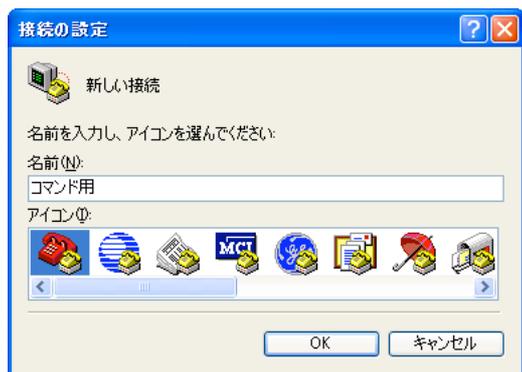
「ハイパーターミナル」ウィンドウが開きます。

ハイパーターミナルがない場合は、[コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] → [Windows ファイル] → [通信] → [詳細] の順に開いていき、インストールしてください。

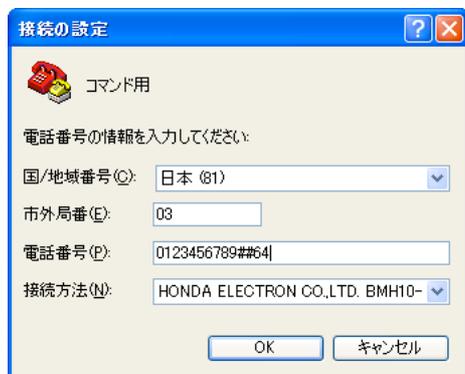


2. 「Hypertrm.exe」を起動します。

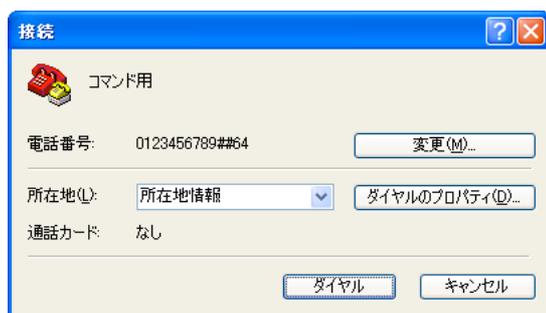
3. 「接続の設定」ウィンドウ内の「名前」に適切な名前を入力し、「OK」をクリックします。



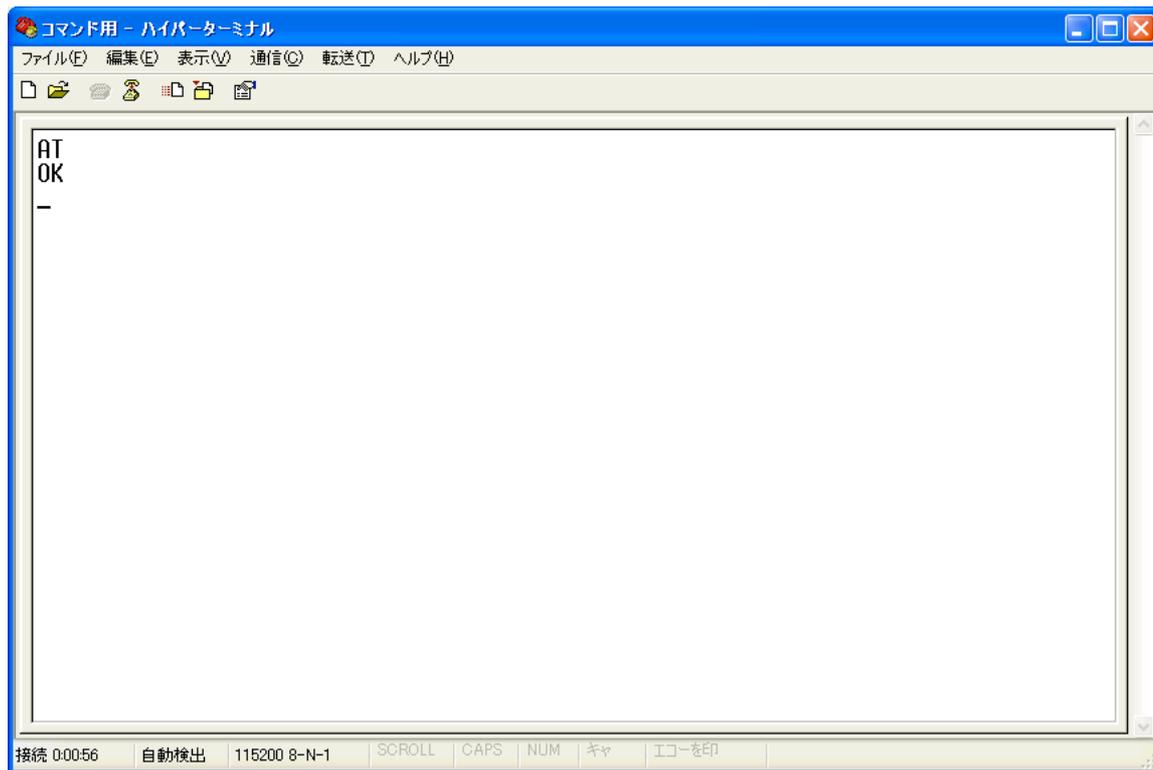
4. 「電話番号」にアクセスポイントの電話番号を入力し「接続方法」に「HONDA ELECTRON CO.,LTD.BMH10C-J」を指定して「OK」をクリックしてください。



5. 「接続」ウィンドウで、「キャンセル」をクリックしてください。



- 6 AT と入力し Enter キーを押したとき、「OK」と表示されたら、準備は完了です。
独自の設定に変更してください。



AT コマンド

本 CF カードでは複数の通信方式が利用できますが、通信方式によってはサポートできる AT コマンドが異なる場合があります。

AT コマンドは、アテンションコードである ‘AT’ と、引き続き文字によるコマンドから構成され、以下の書式となっています。

ATMmNn . . . Enter

AT : アテンションコード。AT コマンド列の開始を示します。

M、N : コマンド文字。AT コマンドの種類を示す文字（列）です。

m、n : コマンドパラメータ。コマンド文字で指示されたコマンドの内容を指定します。

Enter : キャリッジリターン（エンター）キーの入力を示します。

なお、コマンドの入力は、大文字・小文字ともに可能です。

以下に代表的なコマンド例を示します。コマンド一覧など詳細については本 CF カードに付属している CD-ROM 内の AT コマンドリファレンスをご覧ください。

コマンド	内 容	初期値
A/	コマンドリピート	—
Dn	オリジネートモードへの移行	—
En	コマンドエコー	1
Hn	フック制御	—
In	アイデンティフィケーション	—
On	オンラインデータモードへの復帰	—
Qn	リザルトコード設定	0
Sr?	S レジスタの内容表示	—
Sr=	S レジスタ値の設定	—
Vn	リザルト形式	1
Xn	リザルトコードの範囲指定	4
W	PC カード設定プロファイルの読み出し	—
Z	ソフトリセット	—
¥Vn	拡張リザルトコードの選択 1	—
¥Xn	拡張リザルトコードの選択 2	—
&Cn	DCD（キャリア検出）制御	1
&Dn	DTR 制御	2
&F	デフォルト（工場出荷時の設定）の呼出	—
&Kn	フロー制御	3
&Sn	DSR 信号制御	0
&W	PC カード設定プロファイルへの書き込み	—
&Z	PC カード設定プロファイルへの初期化	—
+++	エスケープシーケンスコマンド	—

S レジスタ

S レジスタは、通信用 CF カードとしての動作を詳細に制御するための数値を保持しておくものです。一般的に、本 CF カードの使用は、デフォルト（工場出荷時の設定）の状態です。S レジスタの内容を変更する場合には、付属の CD-ROM 内に入っている「コマンドリファレンス」をご覧ください。以下に代表的な例を示します。コマンド一覧など詳細については本 CF カードに付属している AT コマンドリファレンスをご覧ください。

コマンド	内 容	初期値
S7	キャリア検出許容時間	50
S30	無通信監視タイマ（不活動切断タイマ）	0

拡張 AT コマンド

本 CF カードでは、固有の動作・機能をサポートするために「拡張 AT コマンド」（標準的な AT コマンドではない、当社独自に規定した本 CF カード専用の AT コマンド）を設定してあります。一般的なデータ通信で使用する場合は、デフォルトの状態をご利用になれます。通信方式の選択など、固有の機能をご利用になる場合にご利用ください。以下に代表的な例を示します。一覧など詳細については本 CF カードに付属している AT コマンドリファレンスをご覧ください。

コマンド	内 容	初期値
#An	発信者番号通知機能の選択	1
@Dn	着サブアドレス有／無設定機能の選択	1
@Omn	通話サービスの変更	—
@Bn	分計サービスの設定	—

リザルトコード

本 CF カードでは AT コマンドを受け付けた場合、そのコマンドに対応した動作を行い、その結果をリザルトコードとしてパソコン（または PDA）へ返します。なお、サポートしていないコマンドを受けた場合には「ERROR」を返します。通信ソフトによっては、「ERROR」を受けると動作を停止するものがありますのでご注意ください。

数字	リザルト文字	内 容
0	OK	AT コマンドが正しく実行された
1	CONNECT	相手と通信状態になった データ通信モードへ復帰した
3	NO CARRIER	回線が切断された
4	ERROR	コマンドフォーマットエラー コマンド状態エラー
7	BUSY	相手が話し中
29	DELAYED	しばらくしてからかけ直し

用語集

[AT コマンド]

米国 Hayes 社の「AT コマンド」と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。AT コマンドは、アテンションコードである「AT」と、引き続き文字によるコマンドから構成されます。

[bps]

Bit Per Second の略です。情報をやりとりするスピードの単位で、1 秒間に送信できるビット数を表します。

[CCL ファイル]

Macintosh マシンで周辺デバイスの詳細を定義するファイルで、Open Transport/PPP や Apple Remote Access クライアントなどの通信ソフトで本 CF カードを利用するのに必要なモデム設定ファイルです。本 CF カード用の CCL ファイルは MacOS、MacOS X 共通で使用できます。

[DDI ポケットシングルリンクモード (32k パケット方式)]

DDI ポケットがサービスを行っているパケット通信方式です。情報をパケット (小包) に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。下り最大 32kbps、上り最大 17kbps でインターネットへの接続が可能です。

[DDI ポケットマルチリンクモード (128k パケット方式)]

DDI ポケットがサービスを行っているパケット通信方式で、情報をパケット (小包) に分割してパケット単位で情報をやりとりする方式です。複数の基地局を同時に利用することで下り最大 128kbps、上り最大 68kbps でインターネットへ接続が可能です。

[DTE 速度]

パソコンからモデムまでの通信速度のことをいいます。

[ISP]

Internet Service Provider の略称でプロバイダと同じです。

[PC Card Standard]

PC カードの規格です。

[PDA]

Personal Digital Assistants の略で、携帯情報端末のことです。

[S レジスタ]

S レジスタは、通信用 PC カードとしての動作を詳細に制御するための数値を保持しておくものです。

[設定プロファイル]

本 CF カードでは、AT コマンドや S レジスタで設定した情報を、不揮発性メモリーにより電源を OFF にしても保持することができます。この保存された情報を「設定プロファイル」と呼びます。電源 ON 時にはプロファイルの設定で起動します。

[セットアップファイル]

WindowsOS 上において各種モデムを動作させるために詳細設定が必要となります。セットアップファイルとはその設定が記述されているもので単に定義ファイル、または inf ファイルとも呼ばれます。

[データ圧縮]

データを圧縮して送信することで、同じ通信速度で多くのデータを送ることができます。本 CF カードではサポートしておりません。

[プラグ&プレイ]

周辺機器をパソコン本体に接続する際、ケーブルなどを接続して電源を入れると、半自動的にドライバのインストールなどを行って使える状態にしてくれる機能のことです。

[フロー制御]

データ通信を行う際に、送信側と受信側の処理速度の違いから、データが溢れてしまうことを防ぐために行われる制御のことです。パソコンとCFカード、CFカードと通信相手のモデムの間などでフロー制御が生じます。

本CFカードを利用するにあたり、フロー制御は必要なものとお考えください。フロー制御にはRTS/CTS信号線を使用するハードウェアフロー制御と、XON/XOFFキャラクタを使用するソフトウェアフロー制御の2種類があります。XON/XOFFフロー制御では2種類の1バイト文字を使用してフローコントロールをします。バイナリファイルの転送などには不向きです。使用するフロー制御の方式は、プロバイダなどで指定していますので、それに従ってください。

[プロバイダ]

インターネット接続のサービスを代行している業者のことをいいます。プロバイダは専用のサーバーをもち、ユーザーはそこへアクセスすれば簡単にインターネットが始められます。個人でインターネットを利用する場合には、プロバイダに加入し、認証のためのユーザー名とパスワードを発行してもらいます。

[リザルトコード]

本CFカードではATコマンドを受け付けた場合、そのコマンドに対応した動作を行い、その結果をリザルトコードとしてパソコン（またはPDA）へ返します。

仕様

製品名	BMH10C-J
対応 OS	Windows 日本語版 95/98/98SE/Me/2000/XP/NT4.0/CE3.0 以上 Mac OS 8.5/8.5.1/8.6/9.0/9.0.4/ 9.1/ 9.2.1/ 9.2.2/10.1.5
形状	本体: Compact Flash TYPE II 準拠 PC カードアダプタ装着時 PC カード TYPE II 準拠
外形寸法	43mm×59mm×5mm (一部は 5.8) mm
重量	約 20g
使用電源	DC5V/3.3V 共用 (PC カードスロットより供給)
平均消費電流 (通信時)	約 200mA (128k パケット通信時)
環境条件	動作温度範囲 : 5~40℃ 動作湿度範囲 : 20~80%RH (結露しないこと)
制御コマンド	ヘイズ AT コマンド準拠
通信方式	シングルリンクモード (32k パケット方式) マルチリンクモード (128k パケット方式)